

六角川 ①六角川上流はん濫（堤防決壊地点：六角川左岸 23.8km）

【概況】

- 最大浸水深：はん濫水が伝播する六角川左岸区域（北方駅南側と大町駅西側）では、広い範囲で2m以上の浸水深が発生。
- 最大流速：堤防決壊箇所付近では比較的大きい流速が発生する恐れがある。
- 浸水継続時間：浸水継続時間は六角川沿川の大部分で1～2日未満である。
- 浸水状況

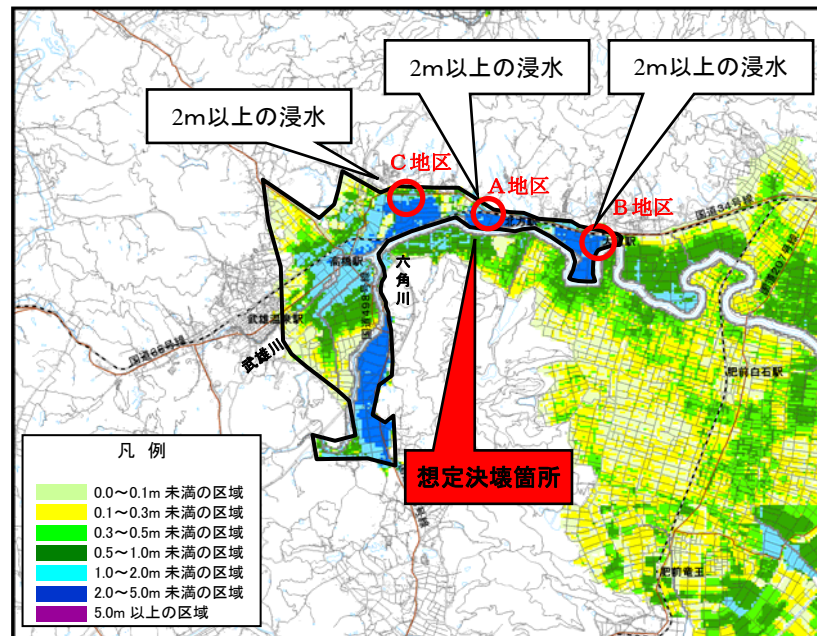
（決壊直前までの状況）

武雄川合流点より下流の六角川左岸の区域では1m以上の内水浸水が発生。武雄川合流点より上流の六角川上流右岸の区域でも越水と内水により1m以上の浸水が発生。

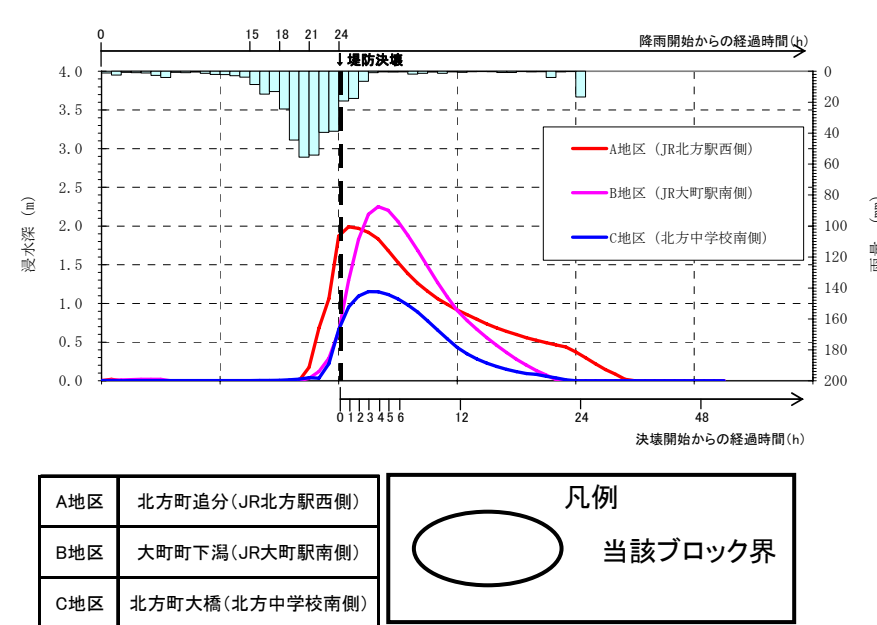
（決壊後から概ね浸水解消までの状況）

決壊箇所からのはん濫水は、六角川左岸沿いを上下流の両方向に伝播する。上流方向へは北方小学校西側（C地区）へ、下流方向は3時間程度でJR大町駅南側（B地区）に到達。JR大町駅南側（B地区）は、決壊12時間後から浸水解消に向かう。

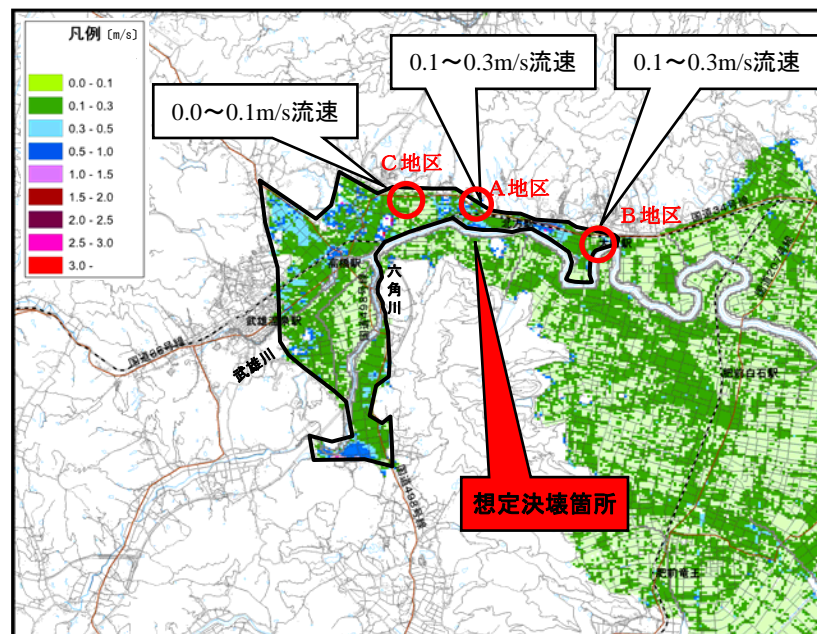
【最大浸水深】



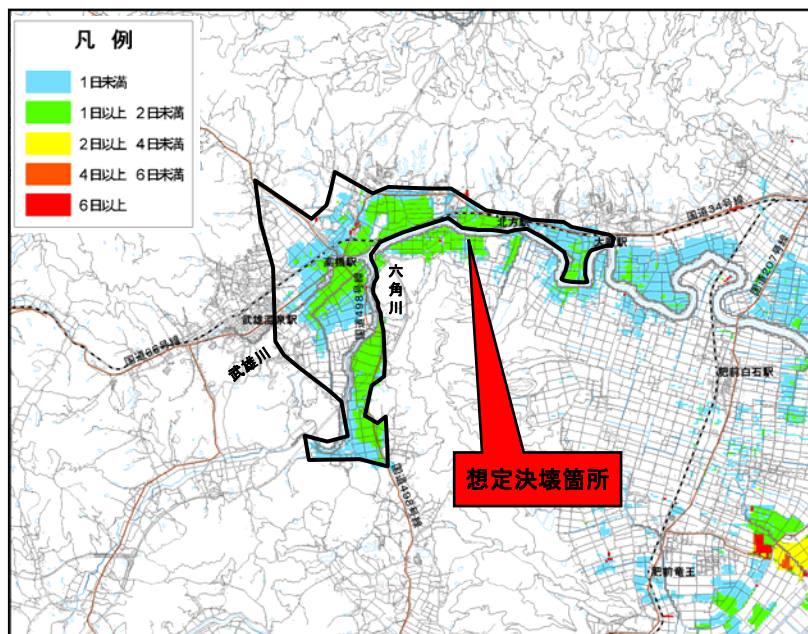
【代表地点の浸水深の変化】



【最大流速】

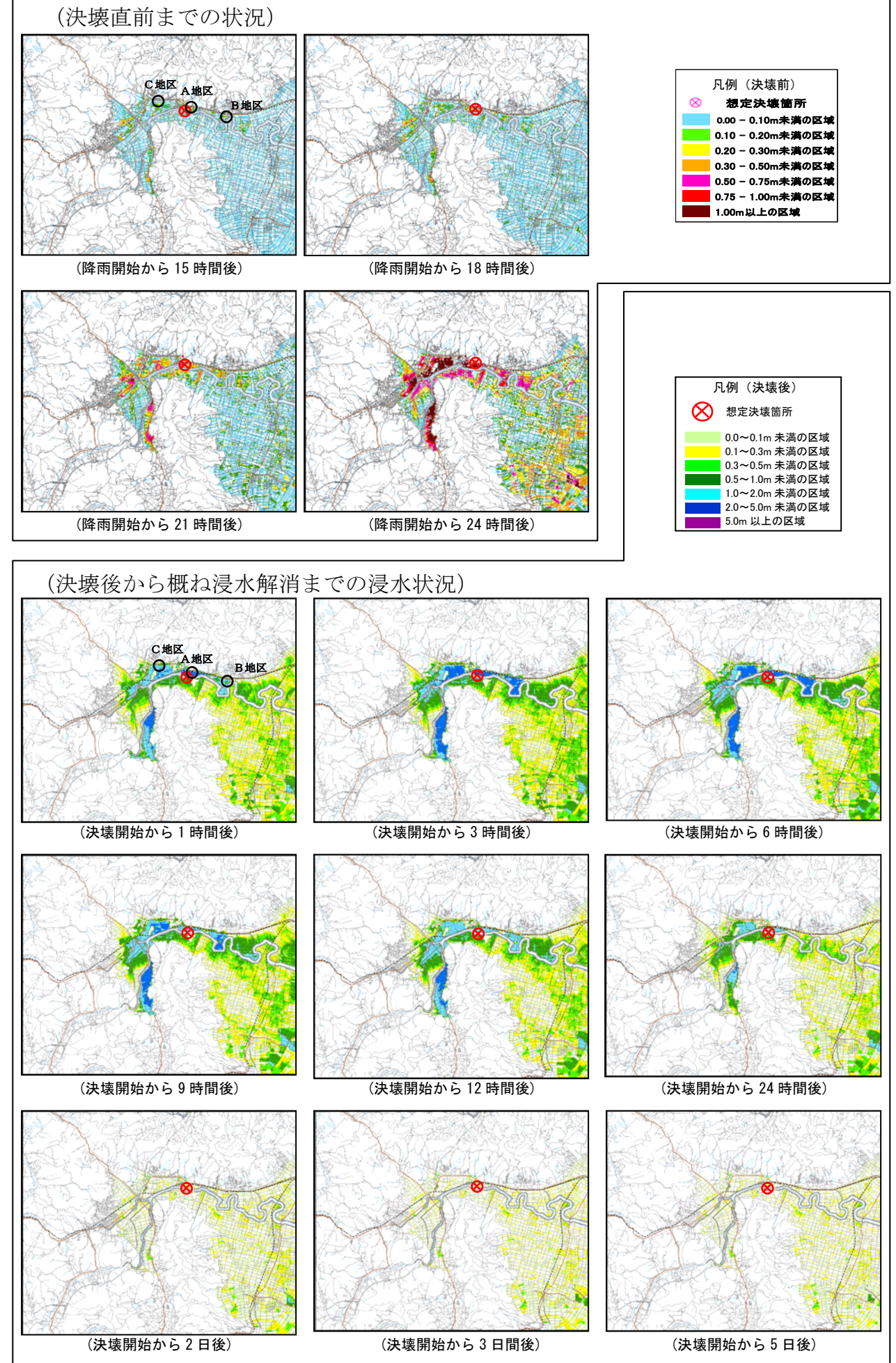


【浸水継続時間】



※浸水深 50cm 以上を対象とする。

【浸水状況】

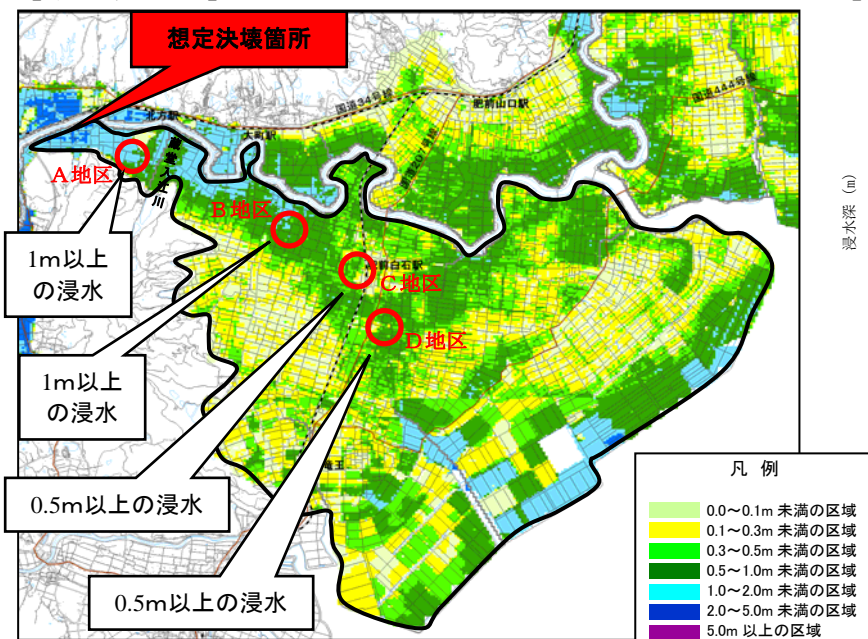


六角川 ②六角川下流右岸はん濫（堤防決壊地点：六角川右岸 25.0km）

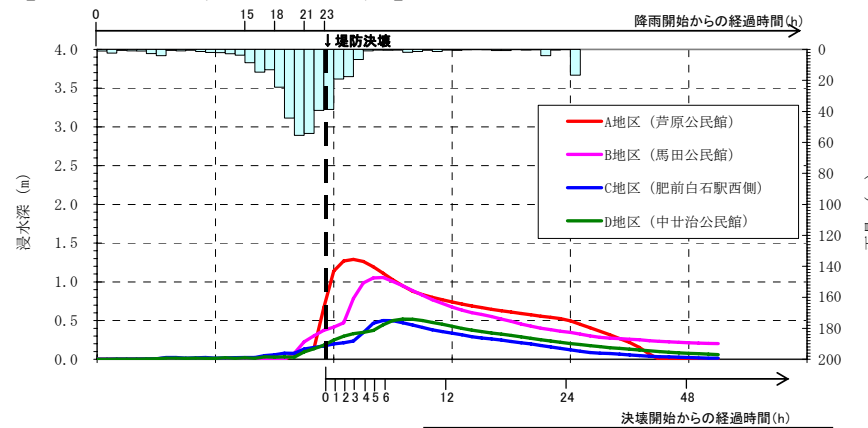
【概況】

- 最大浸水深：はん濫水が伝播する六角川右岸区域では、蔵堂入江川より西側で1m以上（A地区）、東側では0.5m以上（B～D地区）の浸水深が発生。
- 最大流速：堤防箇所付近では比較的大きな流速が発生する恐れがある。
- 浸水継続時間：浸水継続時間は六角川右岸沿川の大部分で1日未満であるが、堤防決壊箇所付近では、1日以上のある。海岸部では2日以上、場所によって6日以上となる。
- 浸水状況
 (決壊直前までの状況)
 広範囲で10～50cm程度の内水浸水が発生し、一部で50cm以上の浸水が発生。
 (決壊後から概ね浸水解消までの状況)
 決壊箇所からのはん濫水は、六角川右岸沿いを伝播し、5時間程度で肥前白石駅周辺にまで到達。白石町は、決壊12時間後から浸水解消に向かう。

【最大浸水深】



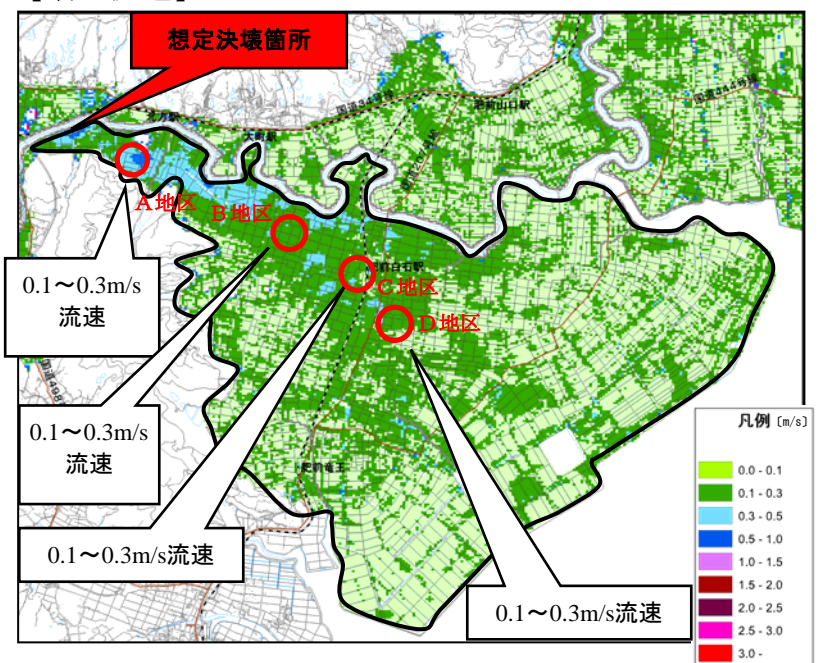
【代表地点の浸水深の変化】



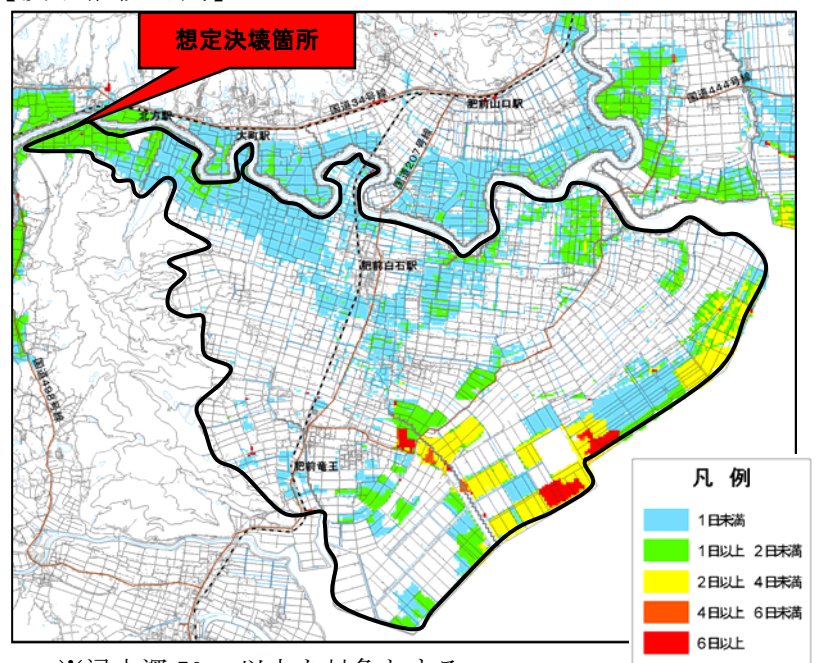
A地区	武雄市北方町(芦原公民館)
B地区	白石町馬田(馬田公民館)
C地区	白石町福田(肥前白石駅西側)
D地区	白石町甘治(中甘治公民館)

凡例 ○ 当該ブロック界

【最大流速】



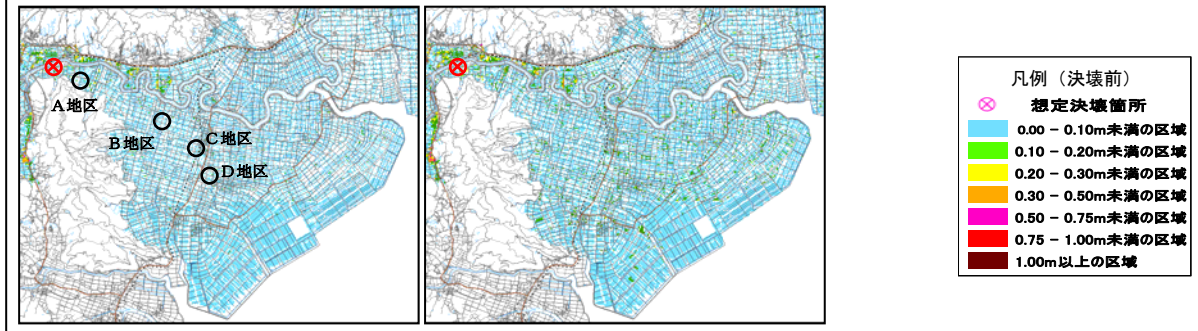
【浸水継続時間】



※浸水深 50cm 以上を対象とする。

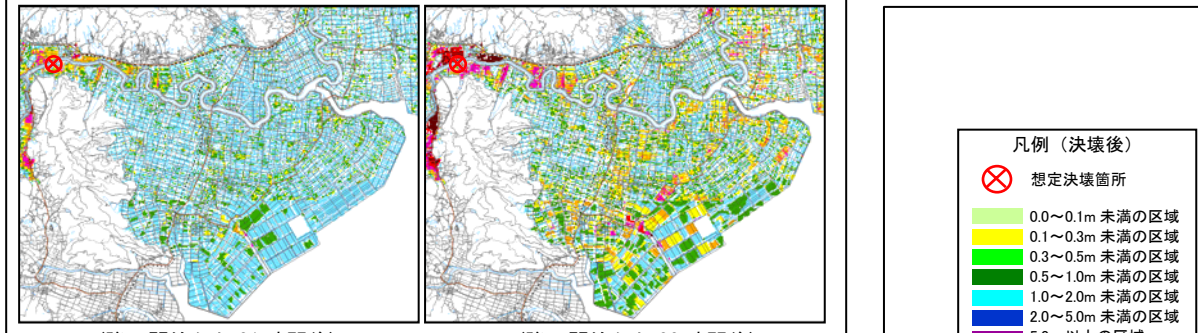
【浸水状況】

(決壊直前までの状況)



(降雨開始から 15 時間後)

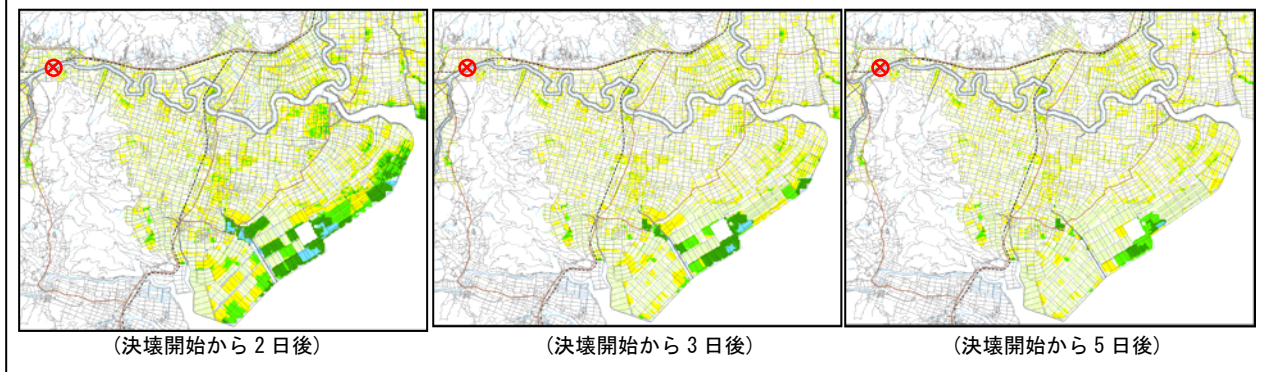
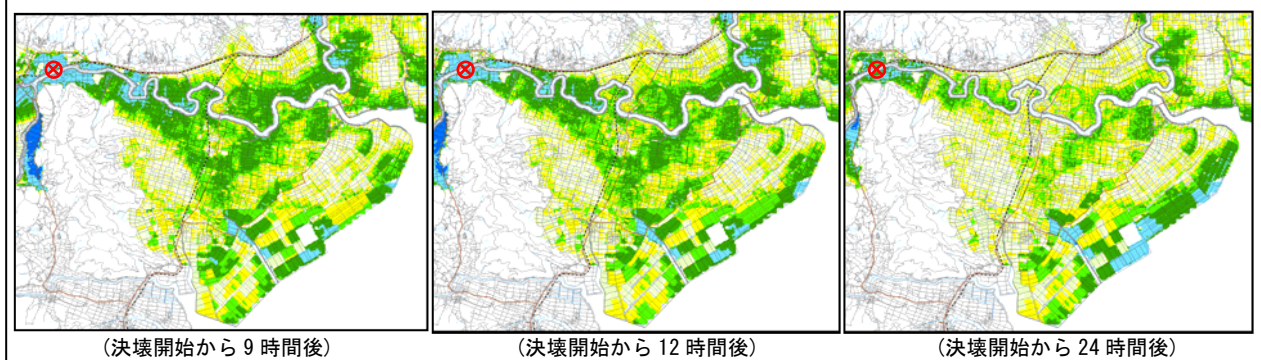
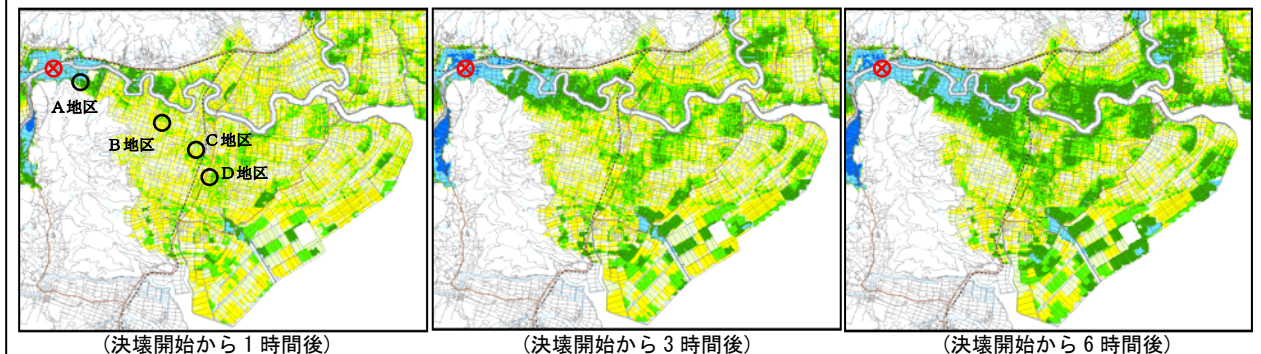
(降雨開始から 18 時間後)



(降雨開始から 21 時間後)

(降雨開始から 23 時間後)

(決壊後から概ね浸水解消までの浸水状況)

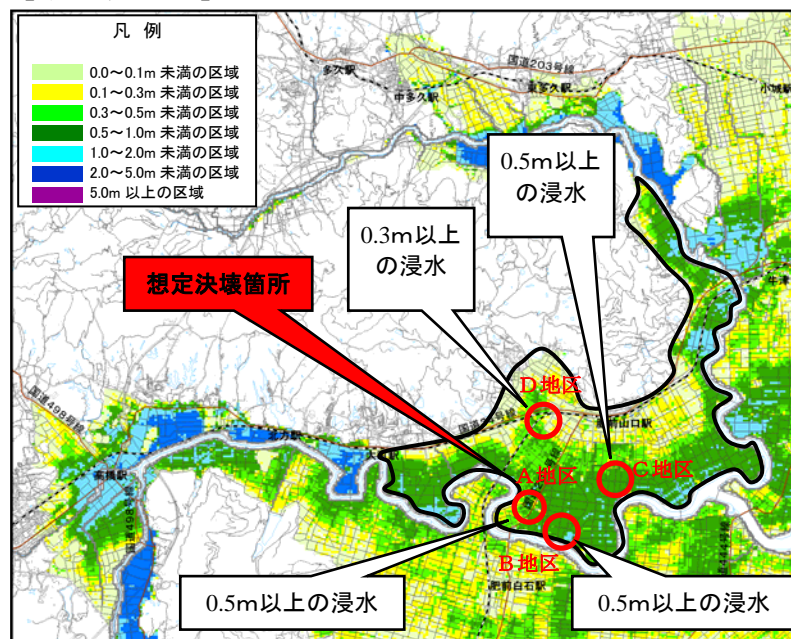


六角川 ③六角川下流左岸はん濫（堤防決壊地点：六角川左岸 13.2km）

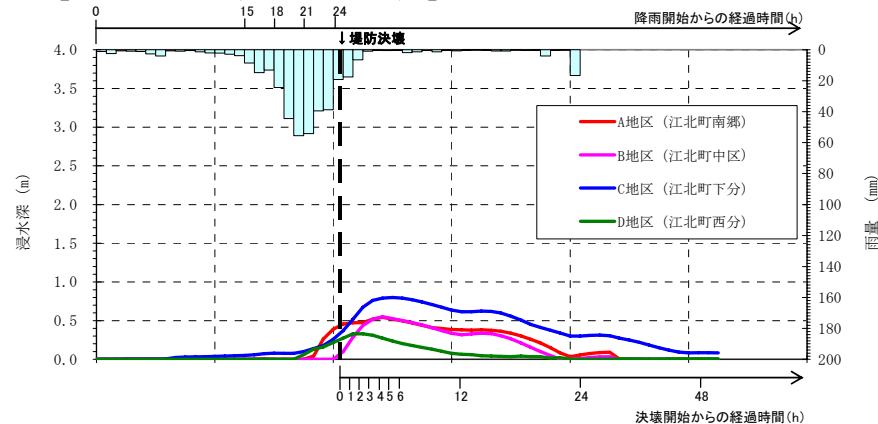
【概況】

- 最大浸水深：はん濫水が伝播する六角川左岸区域では、江北町南郷から江北町下分付近（A～C地区）で0.5m以上の浸水深が発生。決壊箇所より北側の江北町西分（D地区）では0.3m以上の浸水深が発生する。
- 最大流速：はん濫ブロックの広い範囲で0.1～0.3m/sの流速が発生する。
- 浸水継続時間：浸水継続時間は六角川左岸沿川及び牛津川右岸沿川の大部分で1日未満であるが、場所によって1日以上のある。
- 浸水状況
 (決壊直前までの状況)
 広範囲で10～50cm程度の内水浸水が発生。一部では50cm以上の浸水が発生。
 (決壊後から概ね浸水解消までの状況)
 決壊箇所からのはん濫水は、六角川左岸沿いを伝播し、3時間程度で江北町下分（C地区）に到達。決壊地点から北側にも伝播し、3時間程度で江北町西分（D地区）の老人福祉センター付近に到達。ブロック全域で、決壊12時間後から浸水解消に向かう。

【最大浸水深】



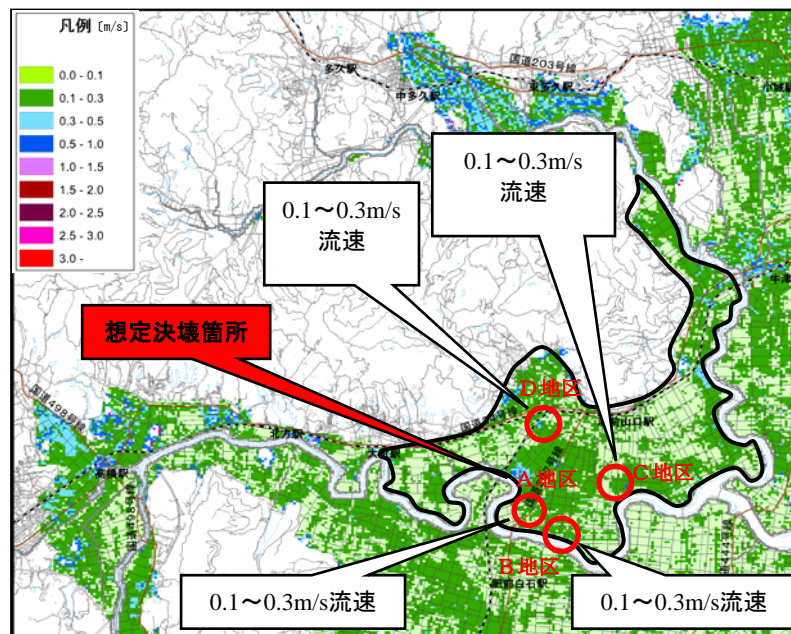
【代表地点の浸水深の変化】



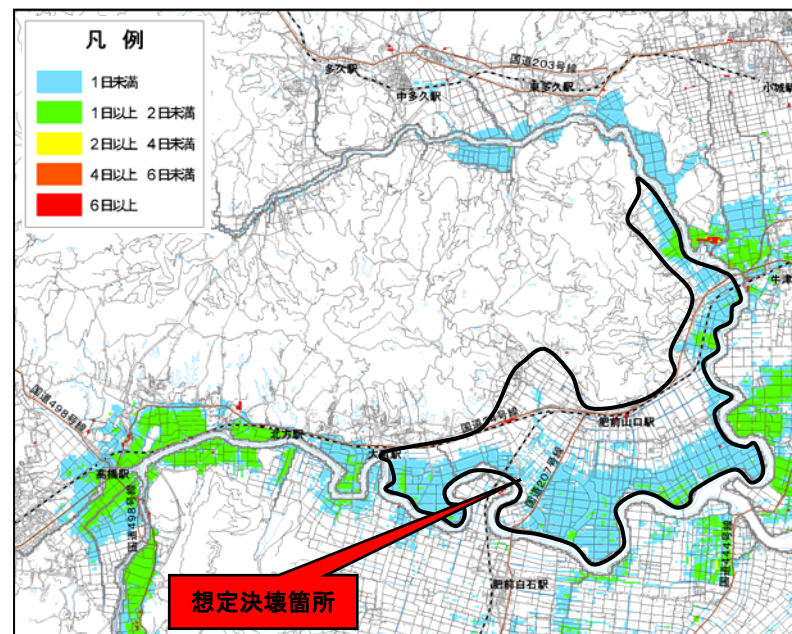
A地区	江北町南郷
B地区	江北町中区
C地区	江北町下分
D地区	江北町西分

凡例
 当該ブロック界

【最大流速】

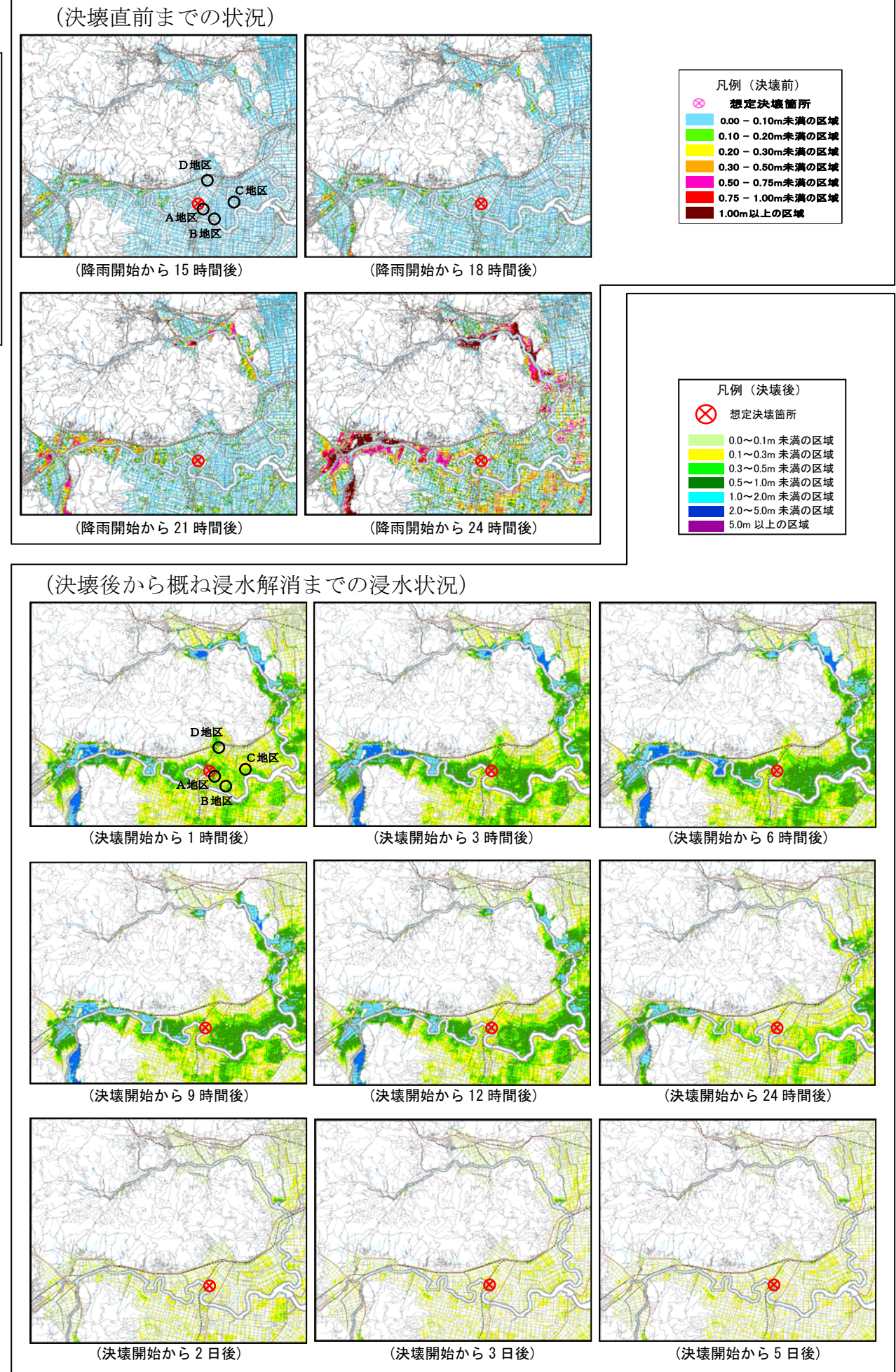


【浸水継続時間】



※浸水深50cm以上を対象とする。

【浸水状況】

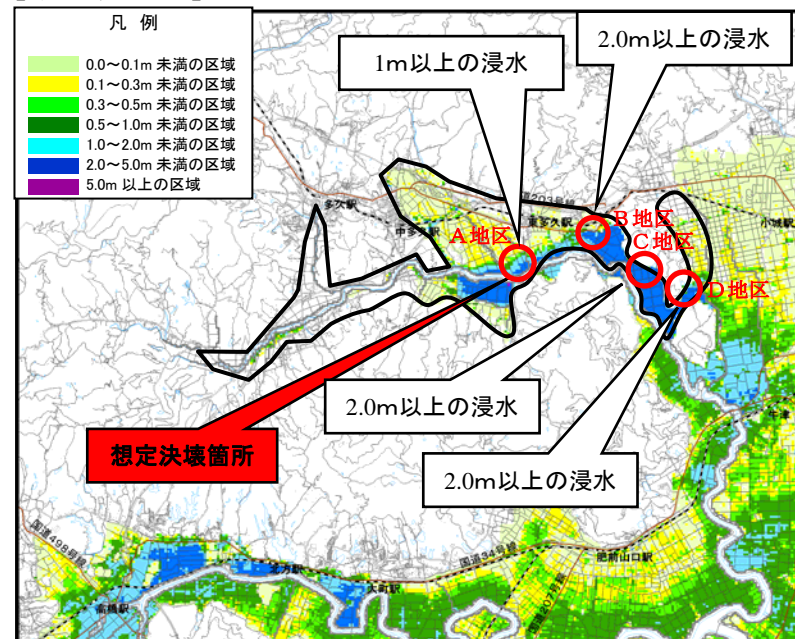


六角川 ④ 牛津川上流はん濫 (堤防決壊地点：牛津川左岸 14.6km)

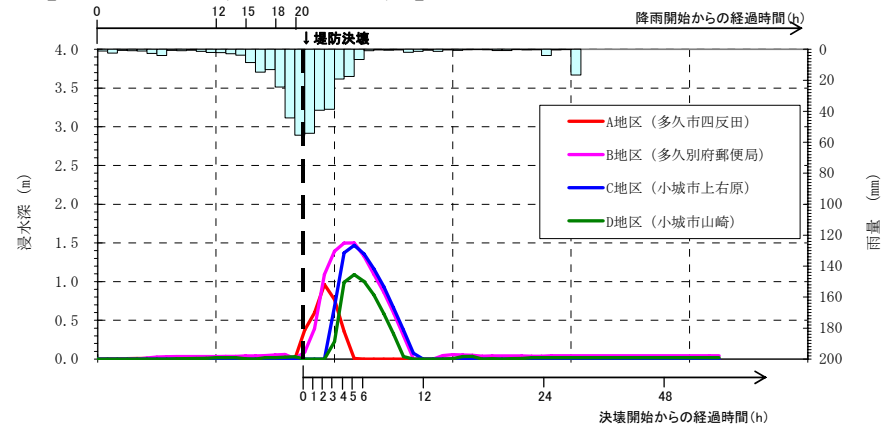
【概況】

- 最大浸水深：はん濫水が伝播する牛津川左岸区域では、多久市四反田 (A 地区) で 1m 以上、多久市古賀二区東より南側 (B～D 地区) では 2.0m 以上の浸水深が発生。
- 最大流速：堤防決壊箇所付近では比較的大きい流速が発生。
- 浸水継続時間：浸水継続時間は牛津川左岸沿川の大部分で 1 日未満であるが、場所によって 1 日以上のある。
- 浸水状況
 (決壊直前までの状況)
 六角川沿川で 1m～2m 程度の内水浸水が発生。
 (決壊後から概ね浸水解消までの状況)
 決壊箇所からのはん濫水は、牛津川左岸沿いを伝播し、4 時間程度で小城市山崎にまで到達。ブロック全域で、決壊 12 時間後から浸水解消に向かう。

【最大浸水深】



【代表地点の浸水深の変化】

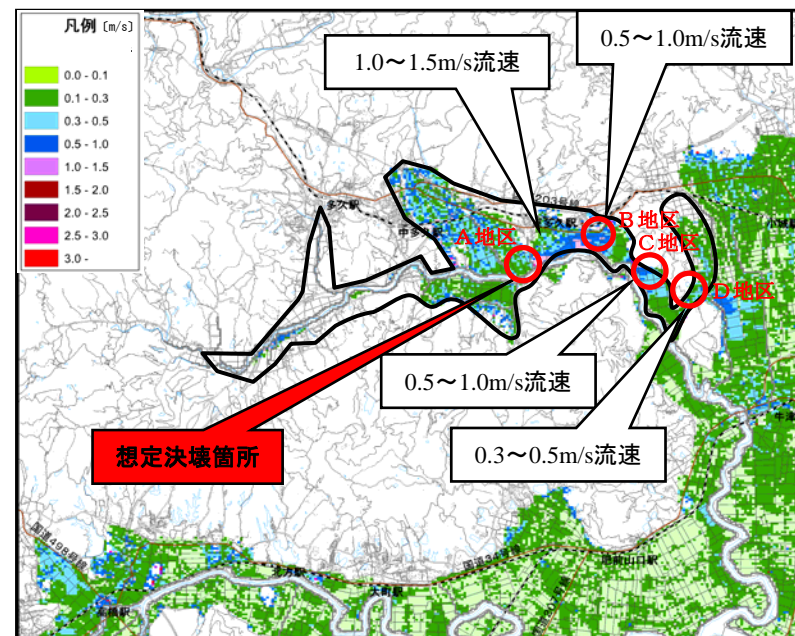


A地区	多久市四反田
B地区	多久市古賀二区東 (多久別府郵便局)
C地区	小城市上右原
D地区	小城市山崎

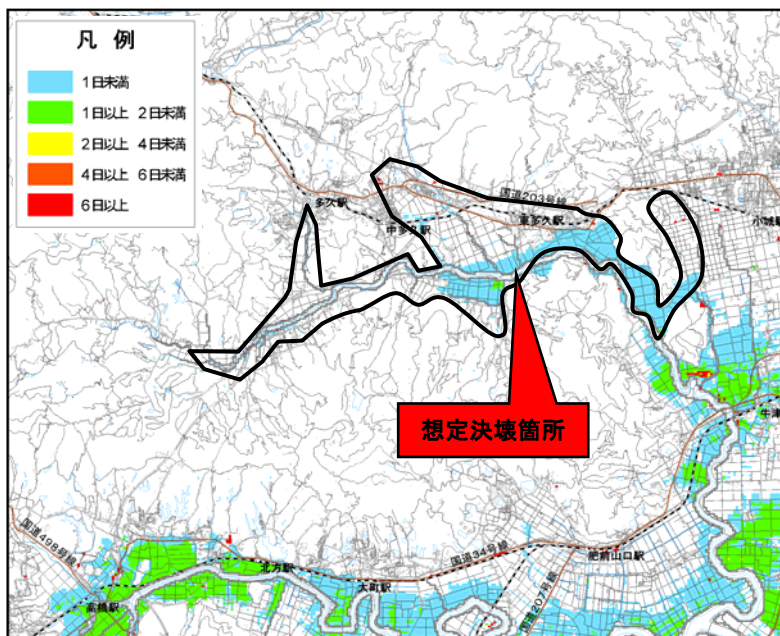
凡例

当該ブロック界

【最大流速】

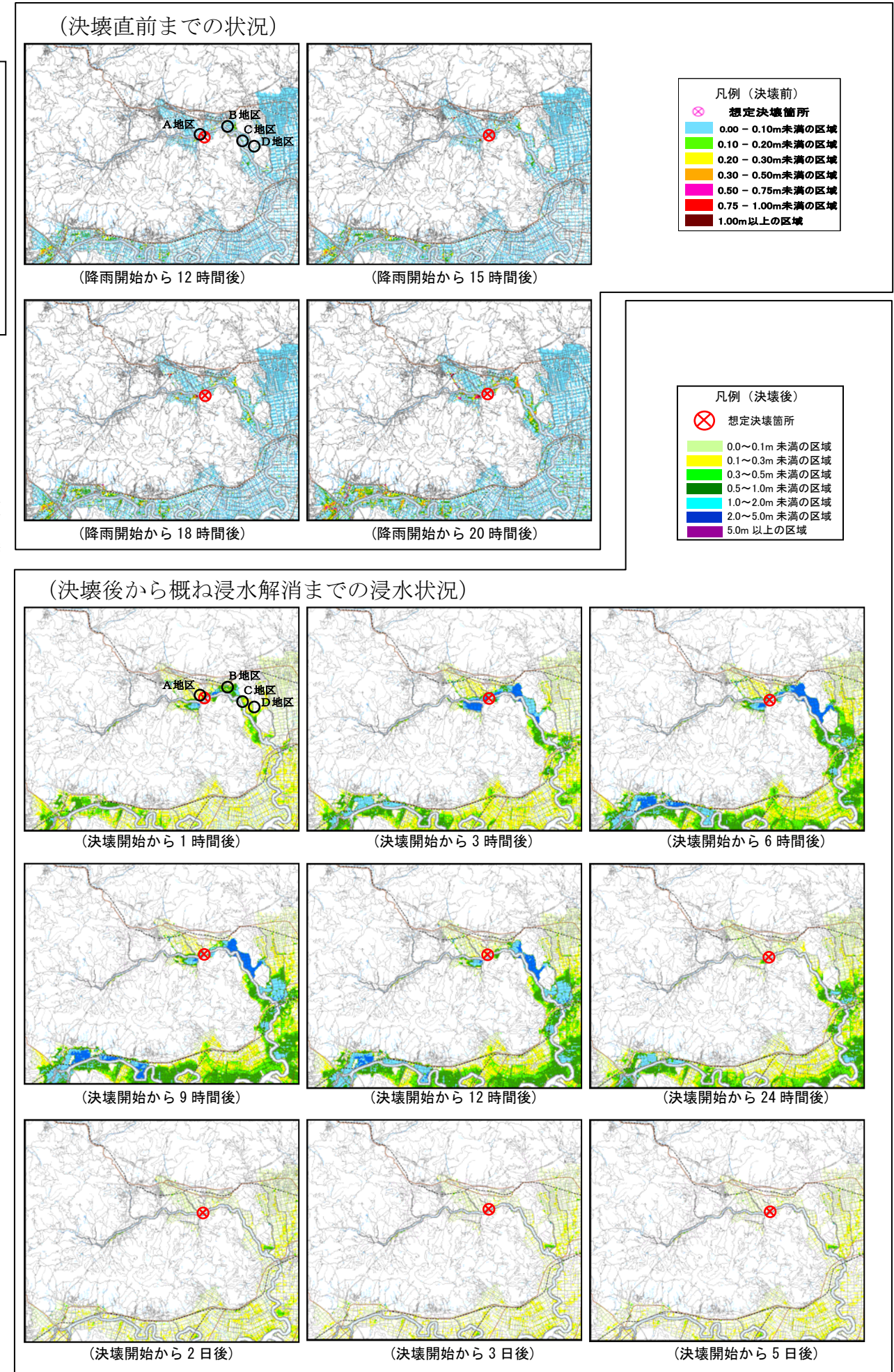


【浸水継続時間】



※浸水深 50cm 以上を対象とする。

【浸水状況】

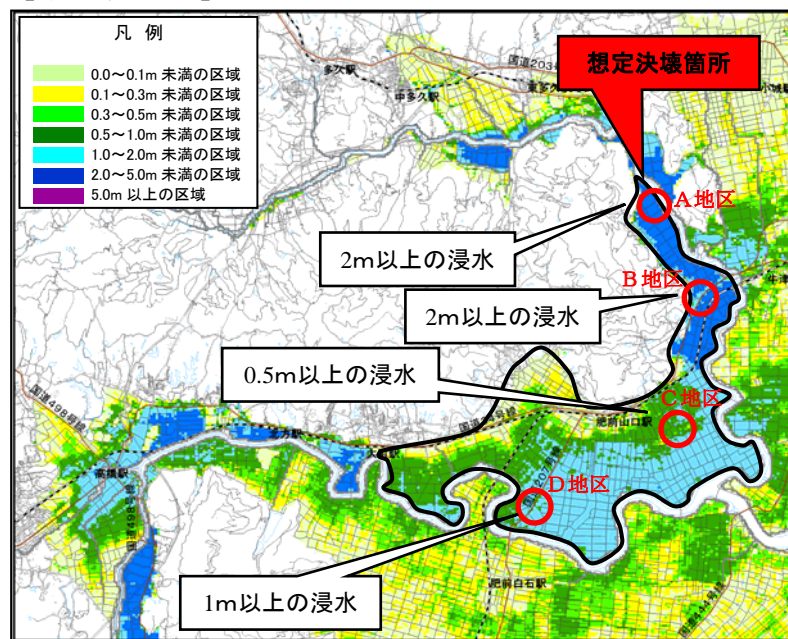


六角川 ⑤牛津川下流右岸はん濫（堤防決壊地点：牛津川右岸 10.4km）

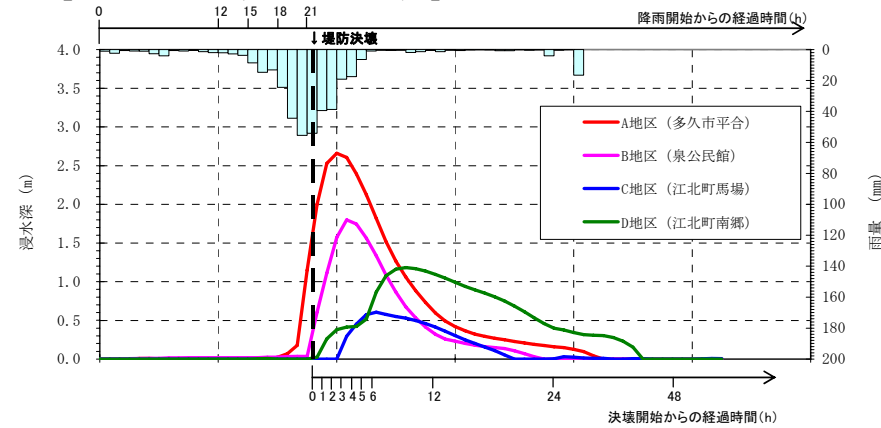
【概況】

- 最大浸水深：はん濫水が伝播する牛津川右岸区域では、決壊箇所から小城市泉（泉公民館）付近まで2m以上（A～B地区）、江北町の広い範囲で1.0m以上（C～D地区）の浸水深が発生。
- 最大流速：堤防箇所付近では比較的大きな流速が発生。
- 浸水継続時間：浸水継続時間は六角川左岸沿川及び牛津川右岸沿川の大部分で1日未満であるが、場所によって1日以上のある。
- 浸水状況
 (決壊直前までの状況)
 広範囲で10～50cm程度の内水浸水が発生。一部では50cm以上の浸水が発生。
 (決壊後から概ね浸水解消までの状況)
 決壊箇所からのはん濫水は、牛津川右岸沿いを伝播し、3時間程度で小城市泉（泉公民館）付近、4時間程度で江北馬場に到達。江北町は、決壊12時間後から浸水解消に向かう。

【最大浸水深】



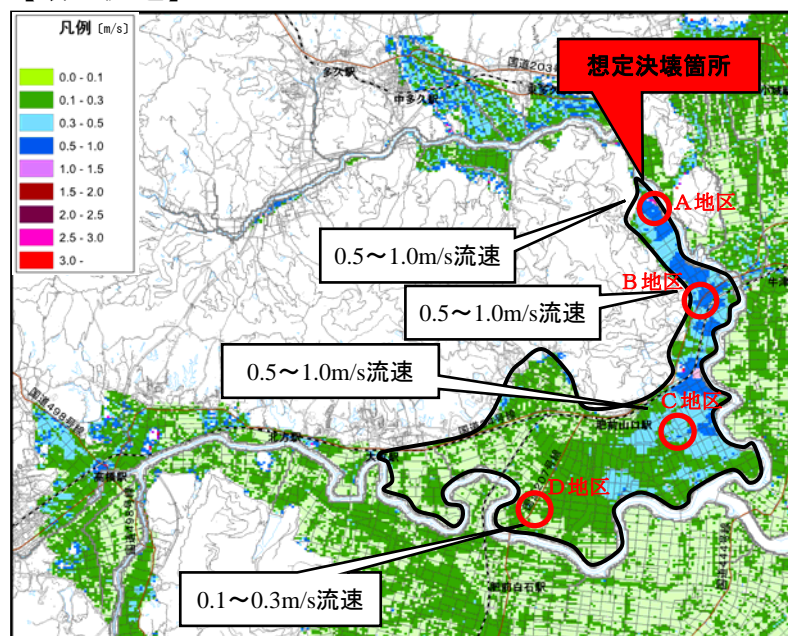
【代表地点の浸水深の変化】



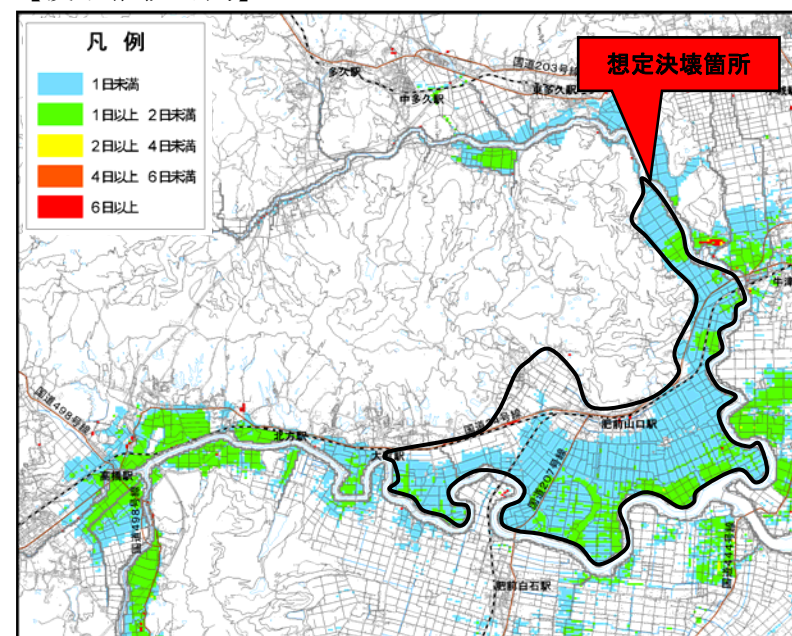
A地区	多久市平合
B地区	小城市泉(泉公民館)
C地区	江北町馬場
D地区	江北町南郷

凡例
○ 当該ブロック界

【最大流速】

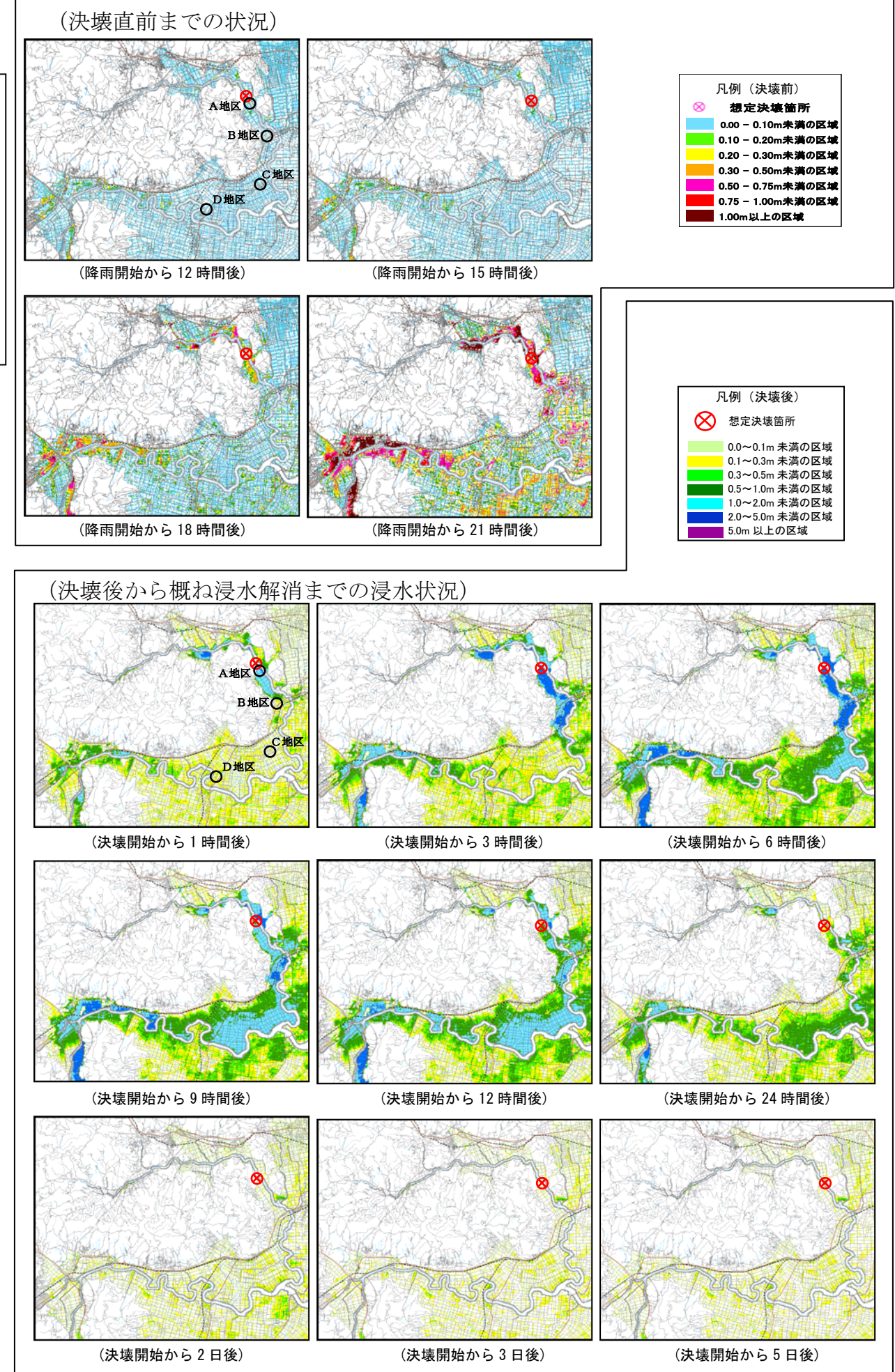


【浸水継続時間】



※浸水深 50cm 以上を対象とする。

【浸水状況】



六角川 ⑥牛津川下流左岸はん濫（堤防決壊地点：牛津川左岸 8.0km）

【概況】

- 最大浸水深：はん濫水が伝播する牛津川左岸区域では、決壊箇所に近い新町公民館の北西側（A地区）で2m以上、その他ブロックの広い範囲で0.5m以上（B～D地区）の浸水深が発生。小城市芦刈（芦刈小学校）の西側から南側海岸部までの範囲で1m以上の浸水深が発生する所がある。
- 最大流速：堤防箇所付近では比較的大きい流速が発生する恐れがある。
- 浸水継続時間：浸水継続時間は広い範囲で1日未満であるが、堤防決壊箇所付近や地盤の低い場所では、1日以上のある。海岸部では2日以上となる。
- 浸水状況

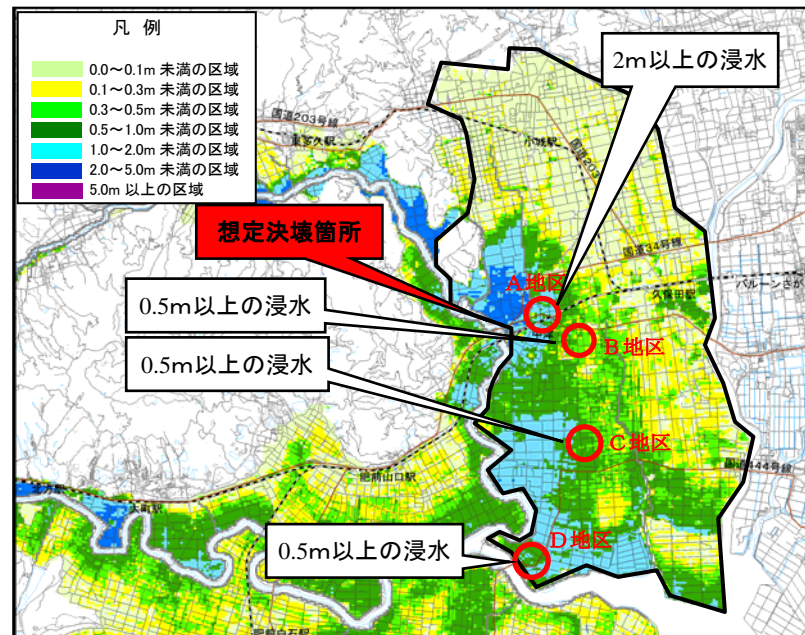
（決壊直前までの状況）

広範囲で10～30cm程度の内水浸水が発生。

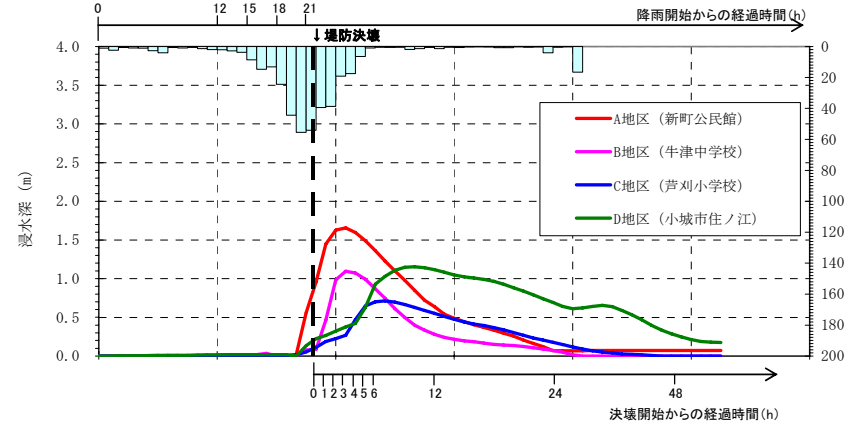
（決壊後から概ね浸水解消までの状況）

決壊箇所からのはん濫水は、牛津川左岸沿いを伝播し、4時間程度で芦刈小学校周辺（C地区）に、6時間程度で小城市住之江（D地区）や海岸部まで到達。芦刈小学校付近（C地区）は、決壊24時間後から浸水解消に向かう。

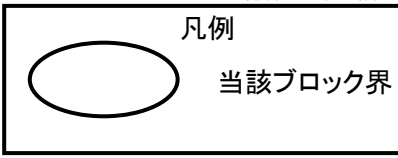
【最大浸水深】



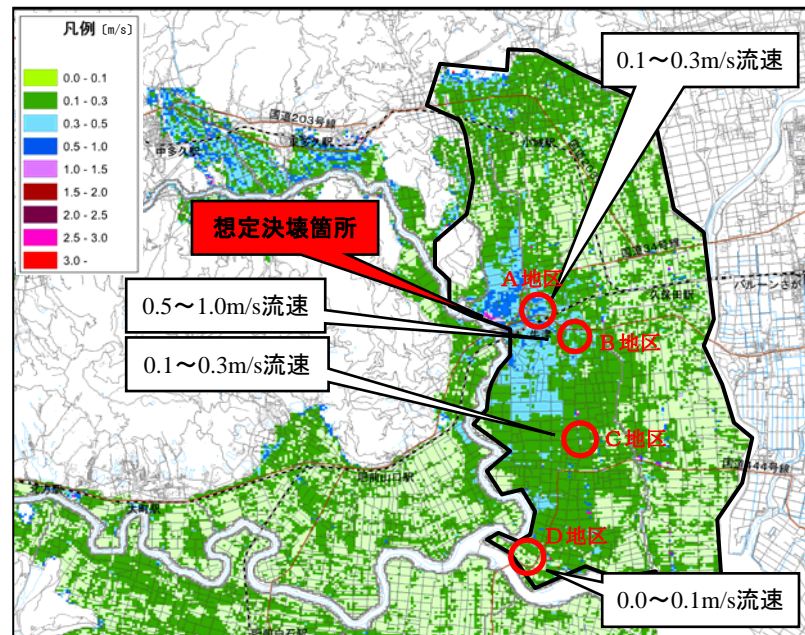
【代表地点の浸水深の変化】



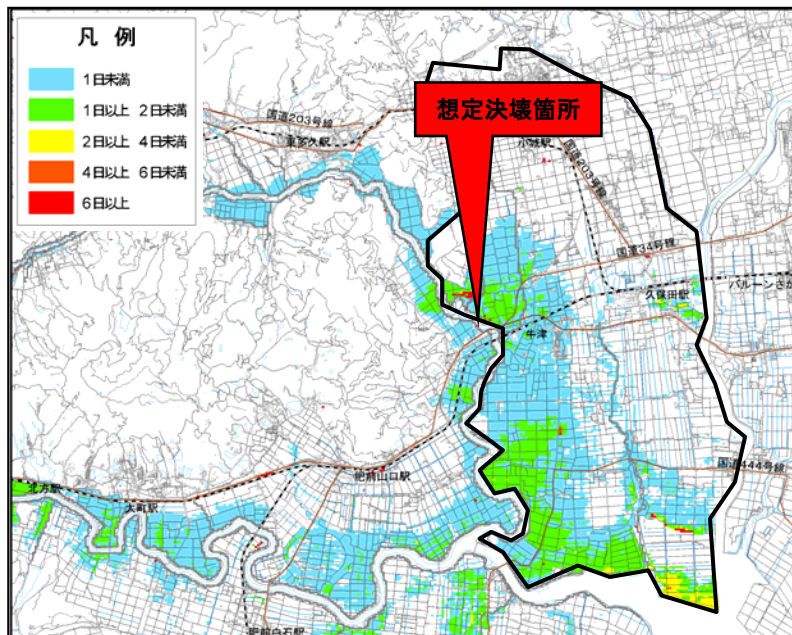
A地区	小城市牛津(新町公民館)
B地区	小城市牛津(牛津中学校)
C地区	小城市芦刈(芦刈小学校)
D地区	小城市住ノ江



【最大流速】



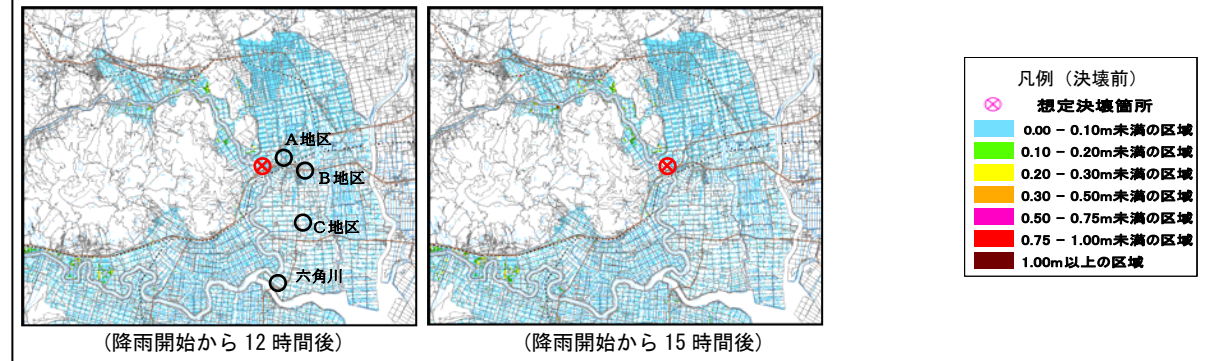
【浸水継続時間】



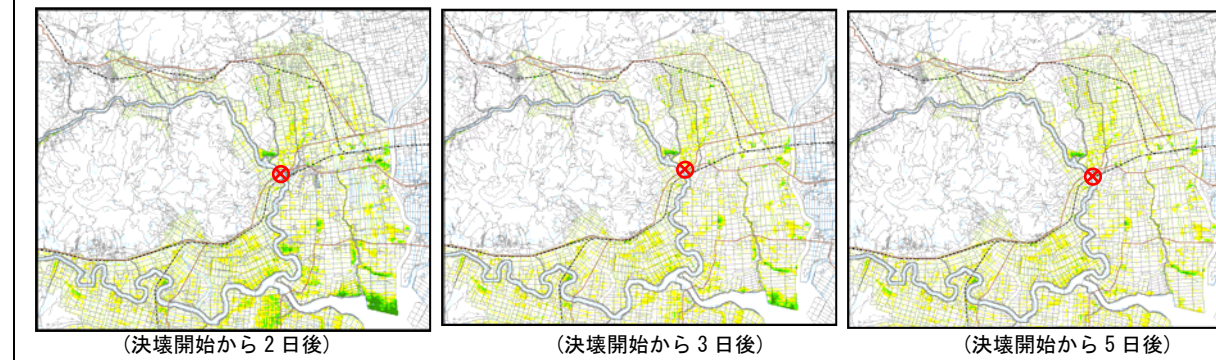
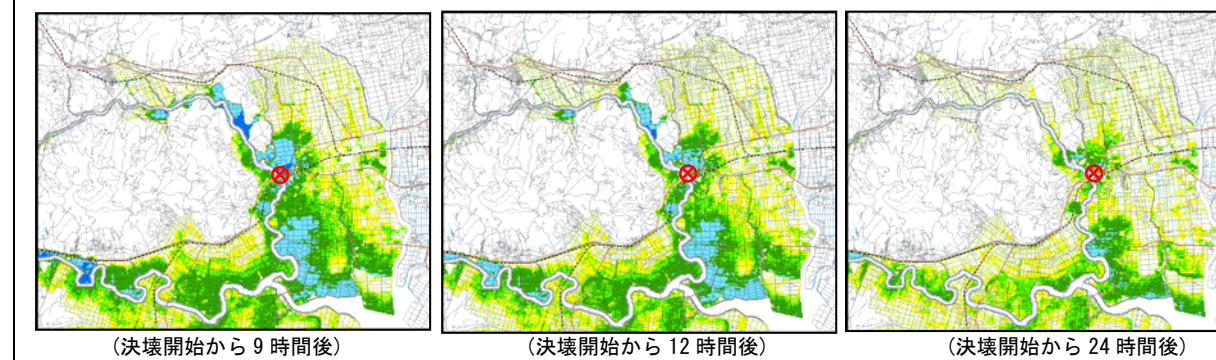
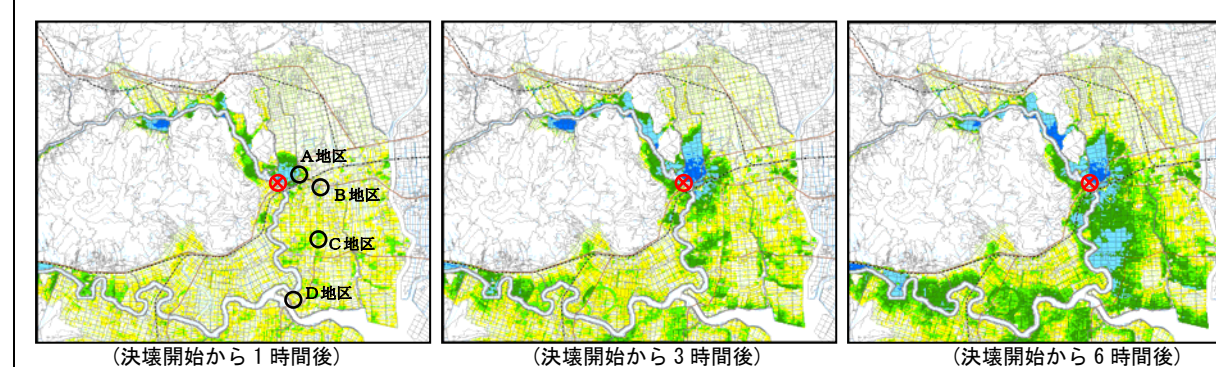
※浸水深 50cm 以上を対象とする。

【浸水状況】

（決壊直前までの状況）



（決壊後から概ね浸水解消までの浸水状況）

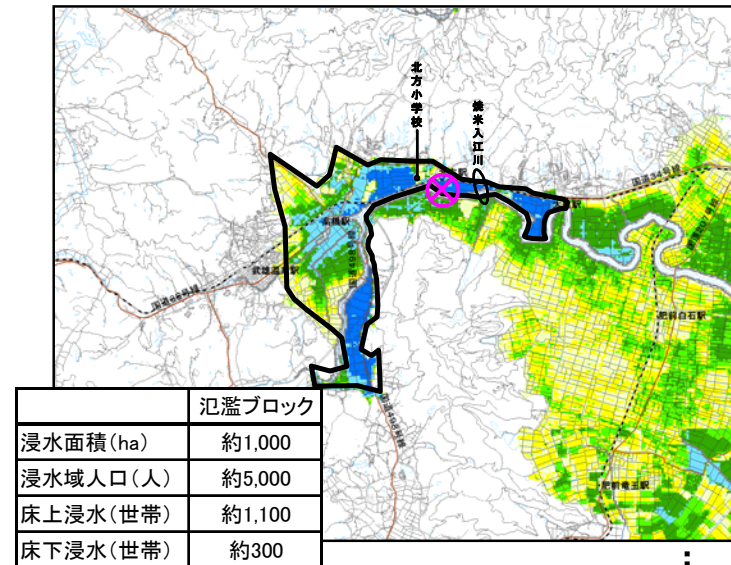


六角川 ①六角川上流左岸はん濫
(堤防決壊地点：六角川左岸 23.8km)

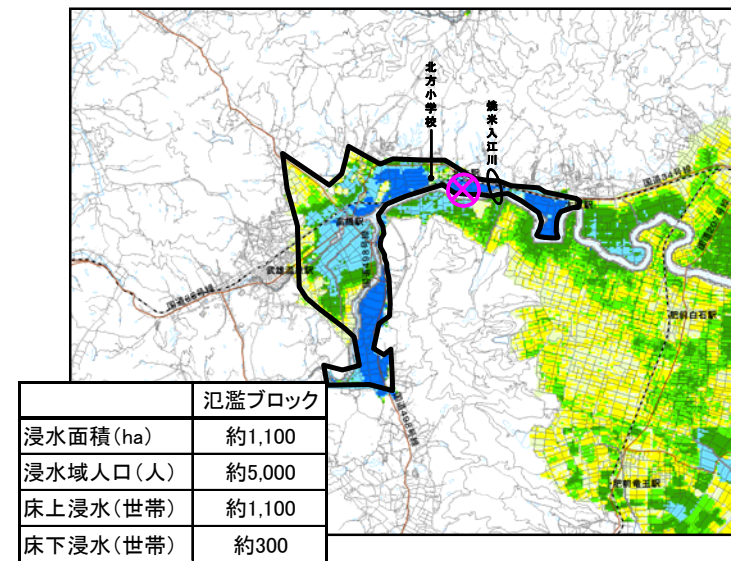
気候変動の影響による最大浸水深の変化 (1.0倍、1.1倍、1.2倍の比較)

- 1.0倍では、焼米入江川沿いの道路を110cm程度越えていたが、気候変動により降雨が増大する場合には115~120cm程度となり被害が拡大する。
- 一方、大町駅付近から東側および北方小学校付近から西側では、はん濫水は伝わることはなく、内水の増加による影響で浸水が増加している。

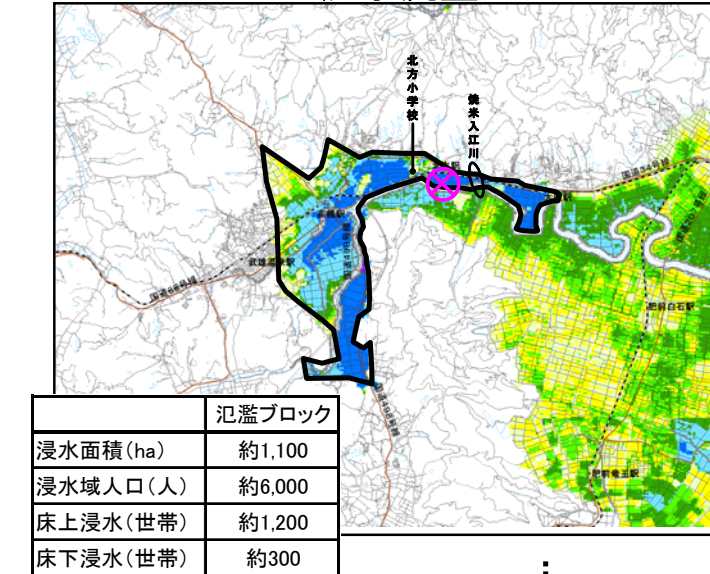
A: 100年に1回の確率で発生する
洪水流量



B: 計画降雨が約1割増になった場合の
洪水流量



C: 計画降雨が約2割増になった場合の
洪水流量

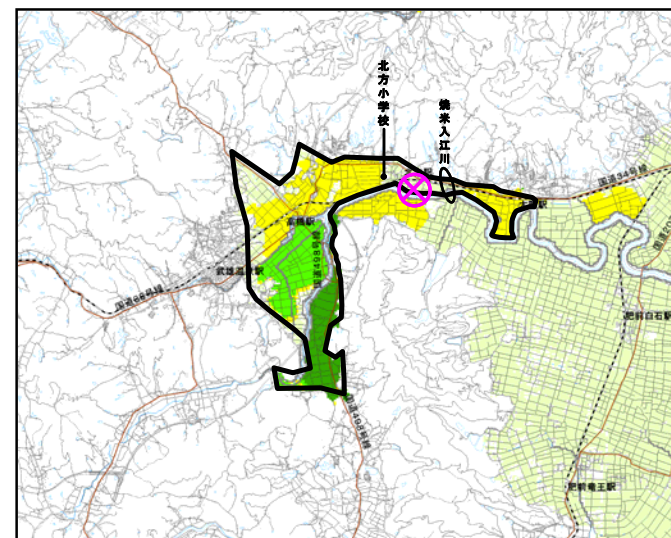


注) 図中の数字は、有効数字2桁により四捨五入した数値となっている。
このため、浸水面積、浸水域人口の増加割合と一致しない場合がある。

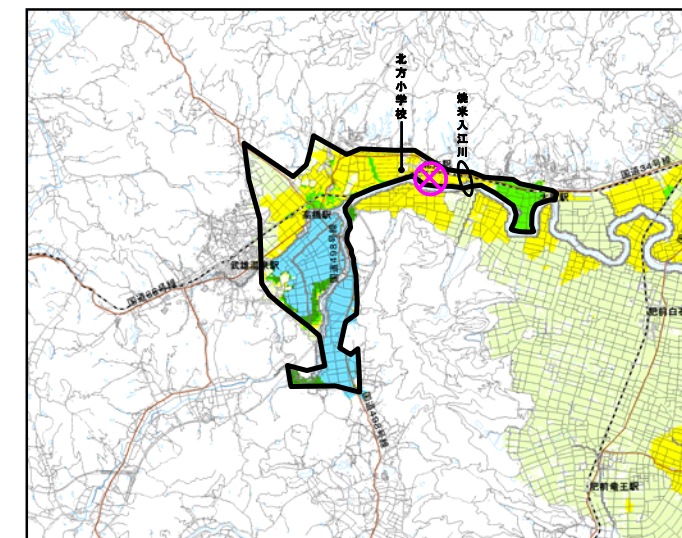
1/100→1割増

1/100→2割増

AとBの最大浸水深の差



AとCの最大浸水深の差



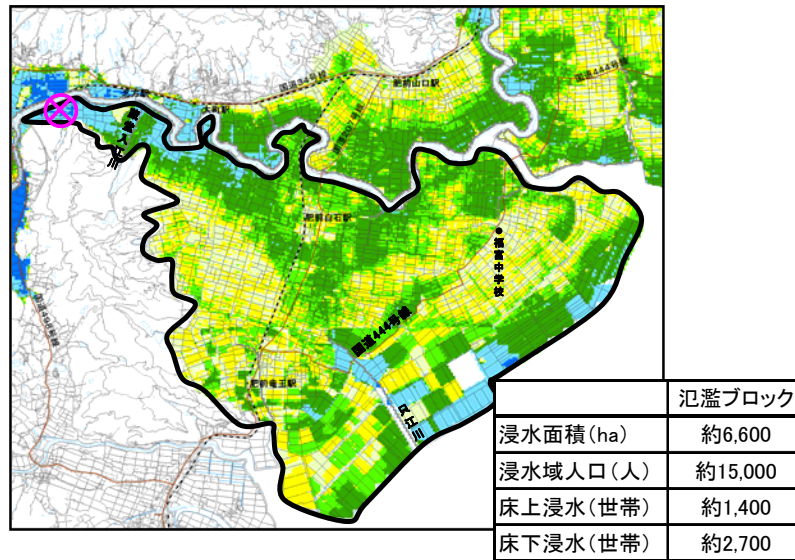
凡例	
⊗	想定決壊箇所
0.0 - 0.1m未満の区域	
0.1 - 0.3m未満の区域	
0.3 - 0.5m未満の区域	
0.5 - 1.0m未満の区域	
1.0 - 2.0m未満の区域	
2.0 - 5.0m未満の区域	
5.0m以上の区域	

六角川 ②六角川下流右岸はん濫
(堤防決壊地点：六角川右岸 25.0km)

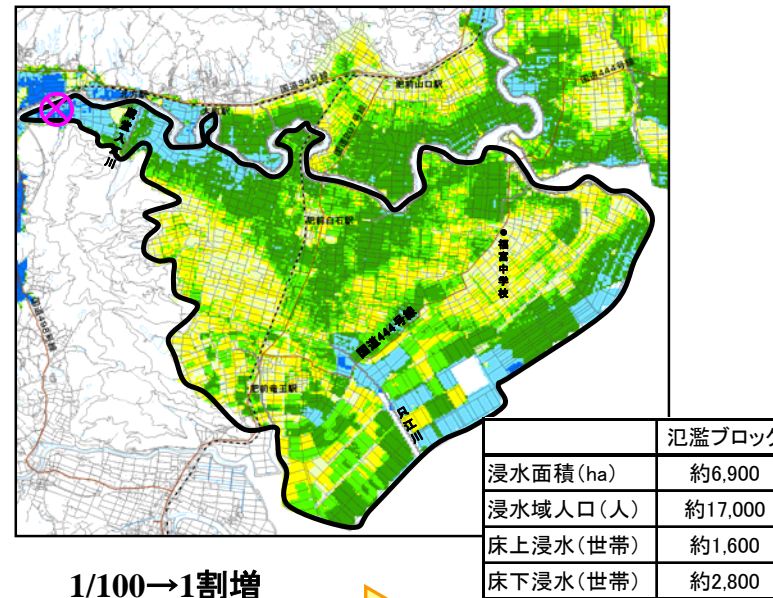
気候変動の影響による最大浸水深の変化 (1.0倍、1.1倍、1.2倍の比較)

- 1.0倍では、県道36号付近で蔵堂入江川を35cm程度越えていたが、気候変動により降雨が増大する場合には40~45cm程度となり被害が拡大する。
- さらに、国道444号も、只江川北側付近や福富町中学校付近で越えており、降雨の増大による越流量の増大に伴い被害が拡大する。

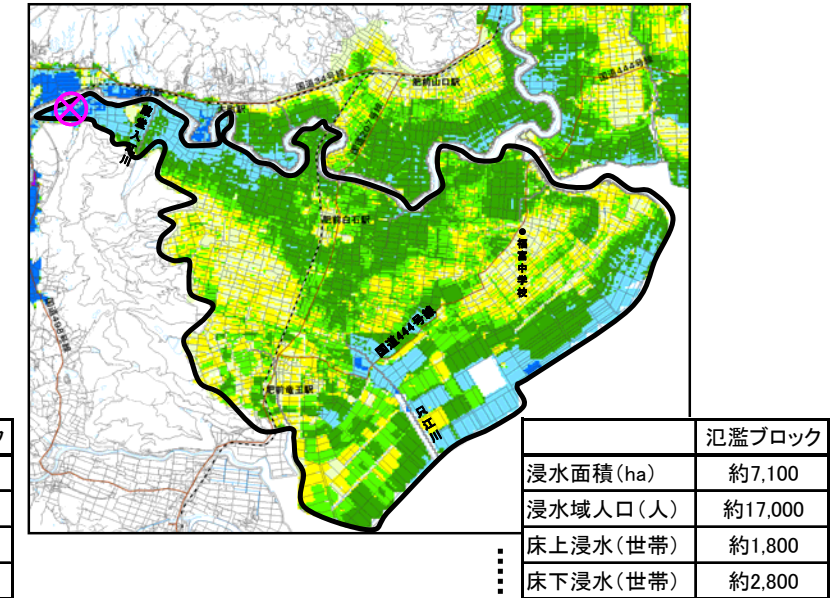
A: 100年に1回の確率で発生する
洪水流量



B: 計画降雨が約1割増になった場合の
洪水流量



C: 計画降雨が約2割増になった場合の
洪水流量

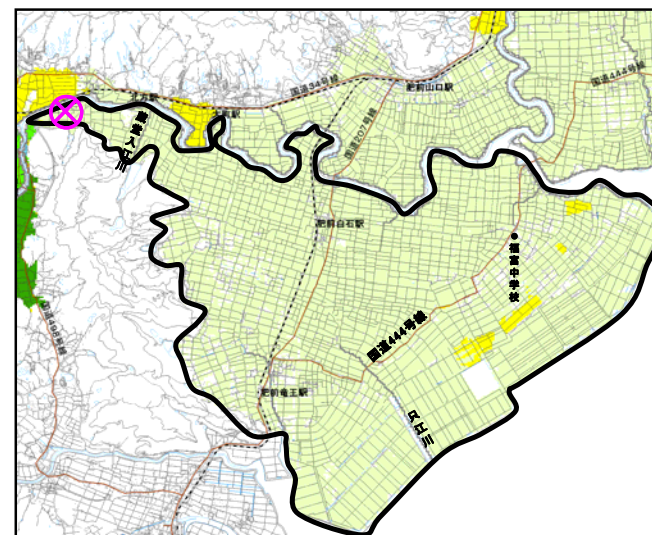


注) 図中の数字は、有効数字2桁により四捨五入した数値となっている。
このため、浸水面積、浸水域人口の増加割合と一致しない場合がある。

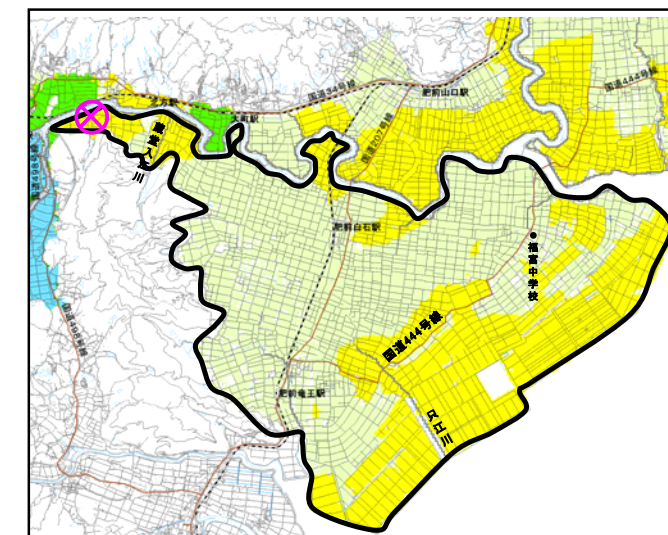
1/100→1割増

1/100→2割増

AとBの最大浸水深の差



AとCの最大浸水深の差

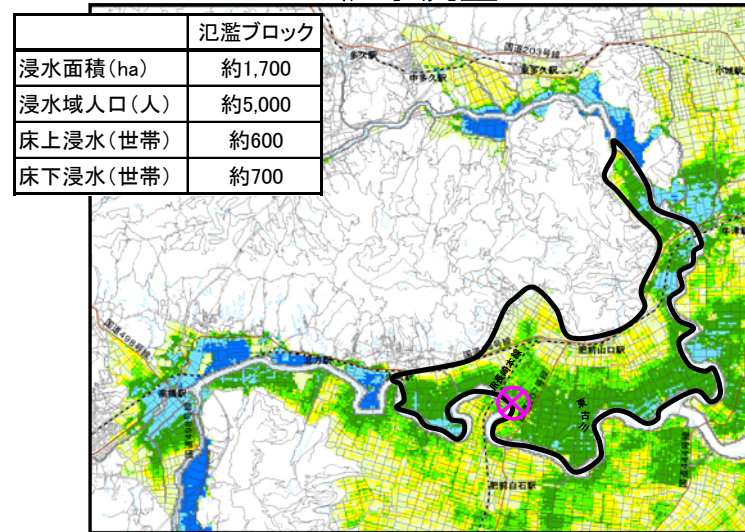


六角川 ③六角川下流左岸はん濫
(堤防決壊地点：六角川左岸 13.2km)

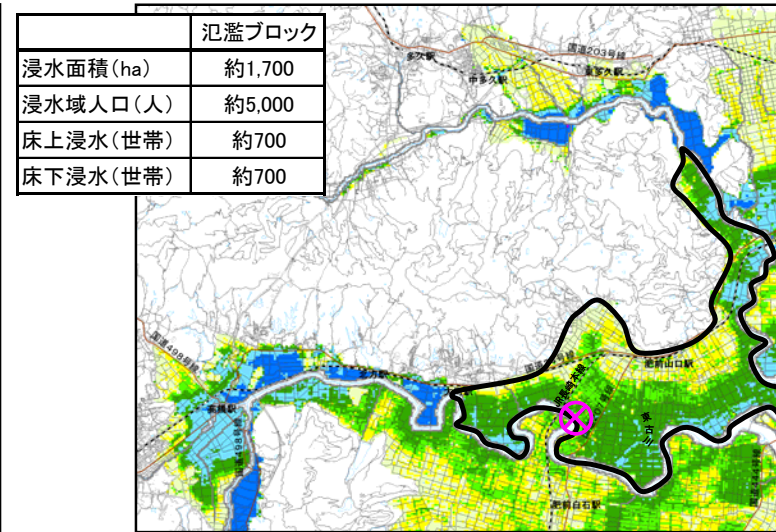
気候変動の影響による最大浸水深の変化 (1.0倍、1.1倍、1.2倍の比較)

- 1.0倍では、東古川南側で国道207号を15cm程度越えていたが、気候変動により降雨が増大する場合には20~30cm程度となり被害が拡大する。
- 一方、JR長崎本線から西側では、はん濫水は伝わることはなく、内水の増加による影響で浸水が増加している。

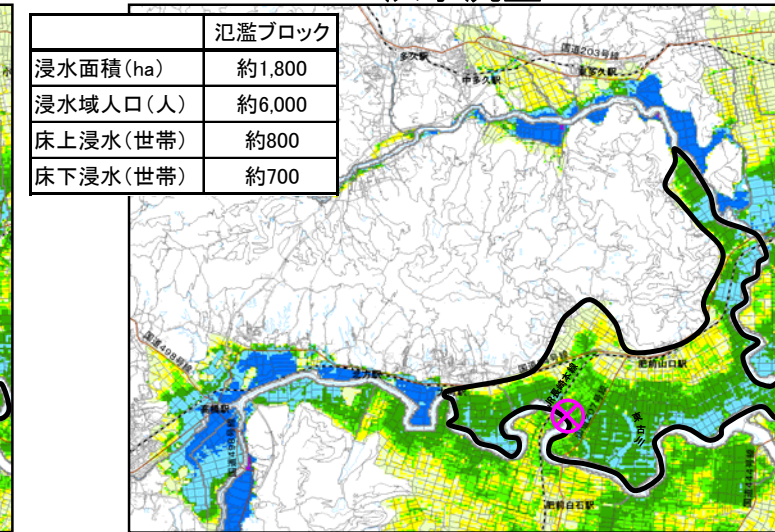
A: 100年に1回の確率で発生する
洪水流量



B: 計画降雨が約1割増になった場合の
洪水流量



C: 計画降雨が約2割増になった場合の
洪水流量

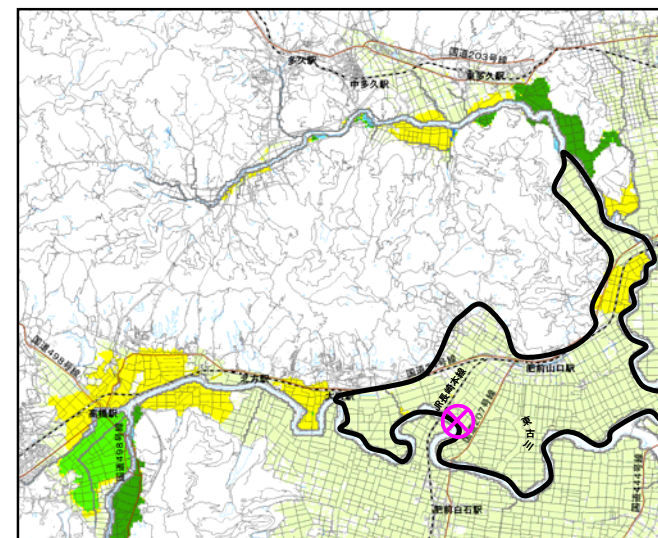


注) 図中の数字は、有効数字2桁により四捨五入した数値となっている。
このため、浸水面積、浸水域人口の増加割合と一致しない場合がある。

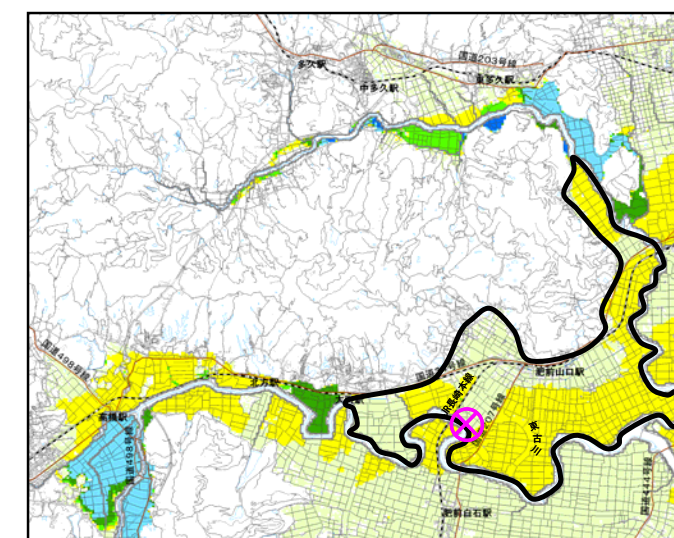
1/100→1割増

1/100→2割増

AとBの最大浸水深の差



AとCの最大浸水深の差

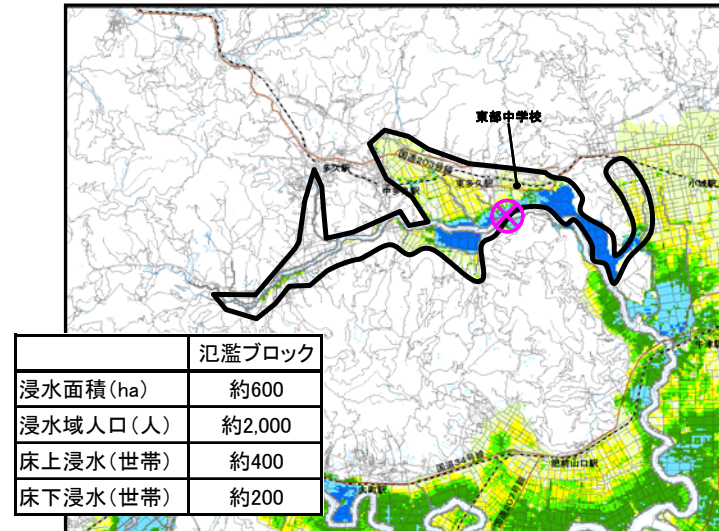


六角川 ④牛津川上流はん濫
(堤防決壊地点：牛津川左岸 14.6km)

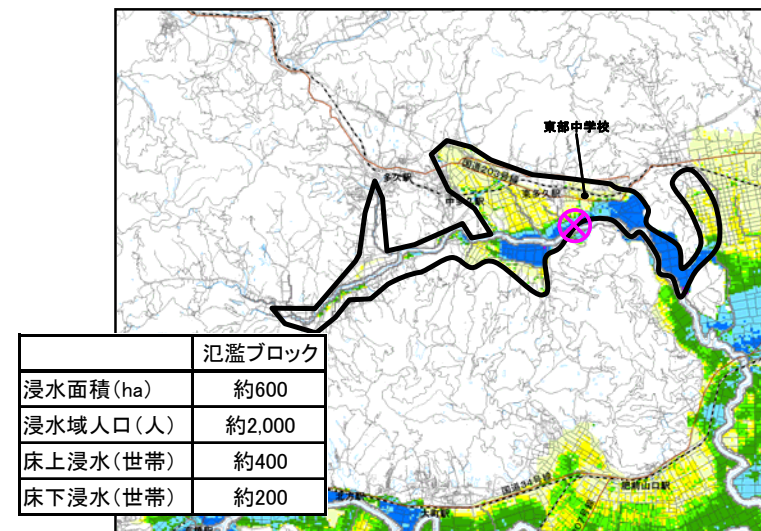
気候変動の影響による最大浸水深の変化 (1.0倍、1.1倍、1.2倍の比較)

- 1.0倍では、東部中学校南側で国道203号を50cm程度越えていたが、気候変動により降雨が増大する場合には90~120cm程度となり被害が拡大する。

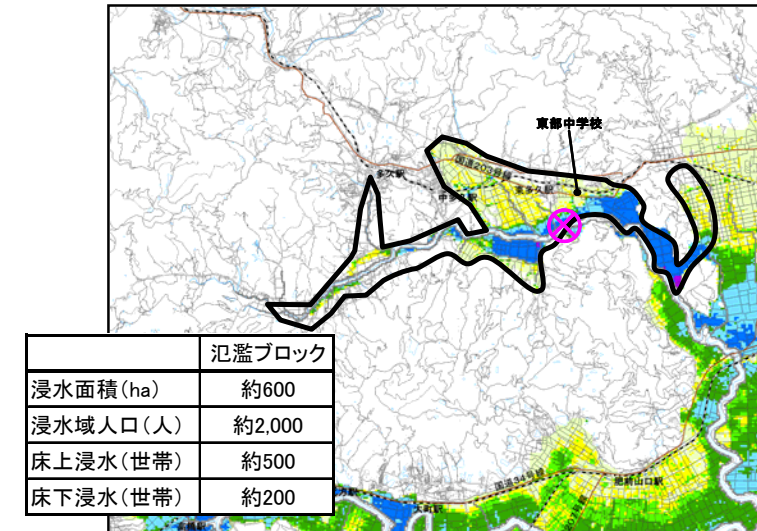
A: 100年に1回の確率で発生する
洪水流量



B: 計画降雨が約1割増になった場合の
洪水流量



C: 計画降雨が約2割増になった場合の
洪水流量

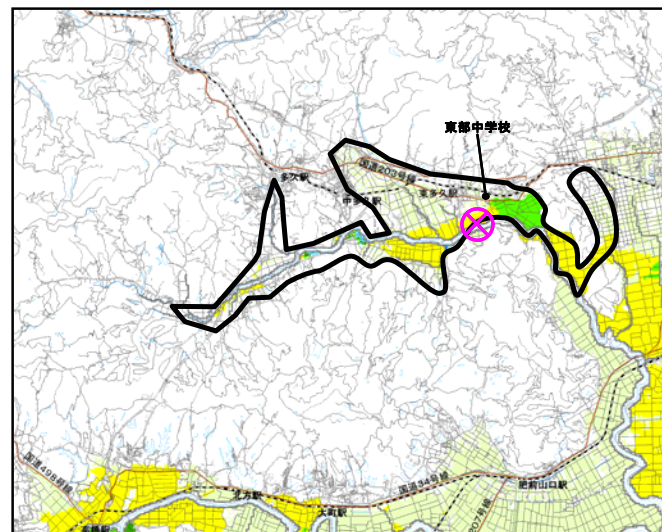


注) 図中の数字は、有効数字2桁により四捨五入した数値となっている。
このため、浸水面積、浸水域人口の増加割合と一致しない場合がある。

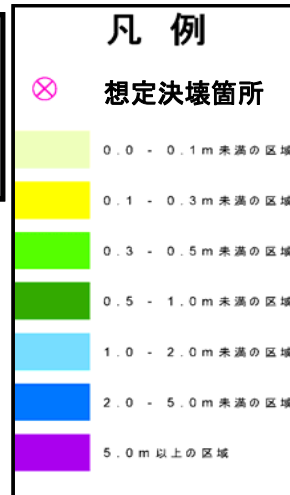
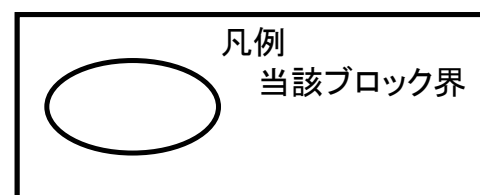
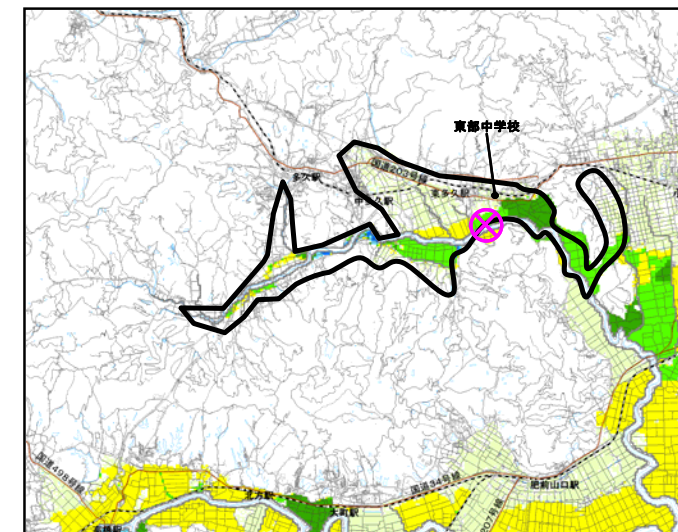
1/100→1割増

1/100→2割増

AとBの最大浸水深の差



AとCの最大浸水深の差

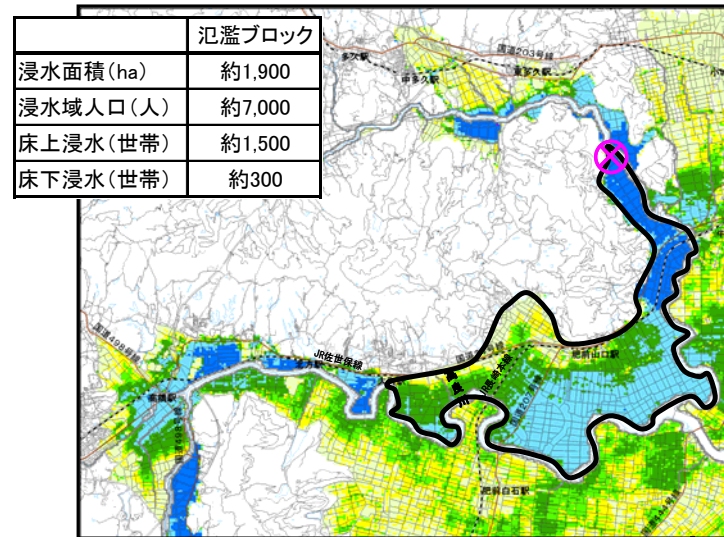


六角川 ⑤牛津川下流右岸はん濫
(堤防決壊地点：牛津川右岸 10.4km)

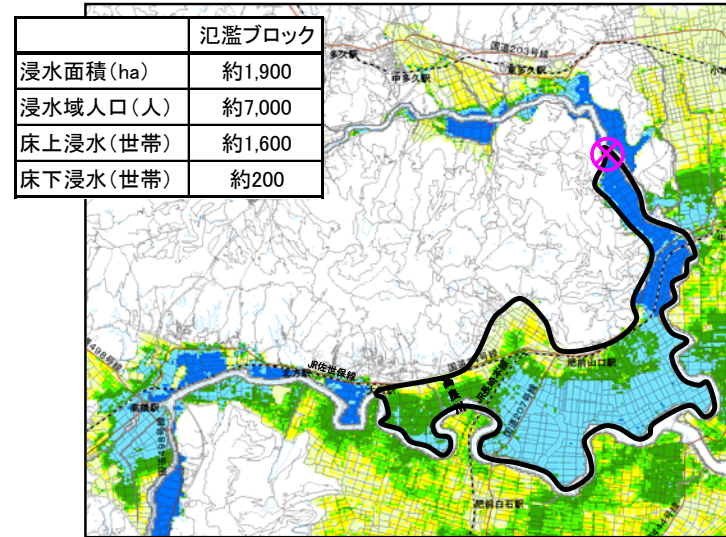
気候変動の影響による最大浸水深の変化 (1.0倍、1.1倍、1.2倍の比較)

- ・はん濫水は国道207号を越えて、さらにJR長崎本線を越水している。1.0倍では、JR長崎本線を5cm程度越えていたが、気候変動により降雨が増大する場合には15~20cm程度となり被害が拡大する。
- ・一方、高良川から西側では、はん濫水は伝わることはなく、内水の増加による影響で浸水が増加している。

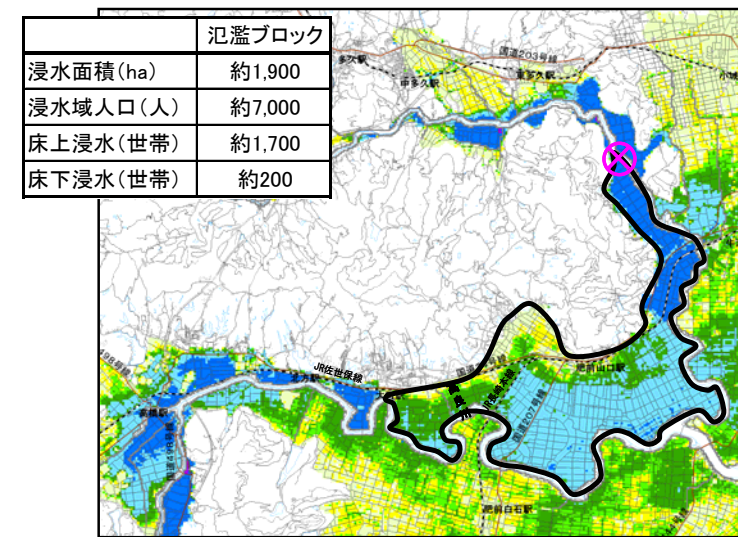
A: 100年に1回の確率で発生する洪水流量



B: 計画降雨が約1割増になった場合の洪水流量



C: 計画降雨が約2割増になった場合の洪水流量

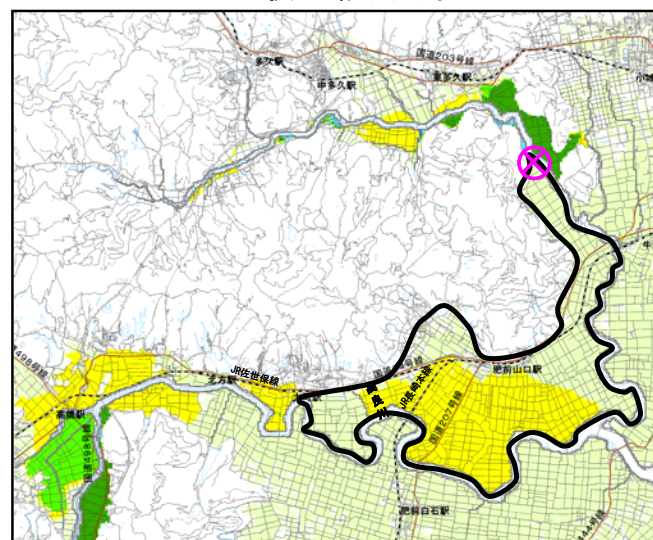


注) 図中の数字は、有効数字2桁により四捨五入した数値となっている。
このため、浸水面積、浸水域人口の増加割合と一致しない場合がある。

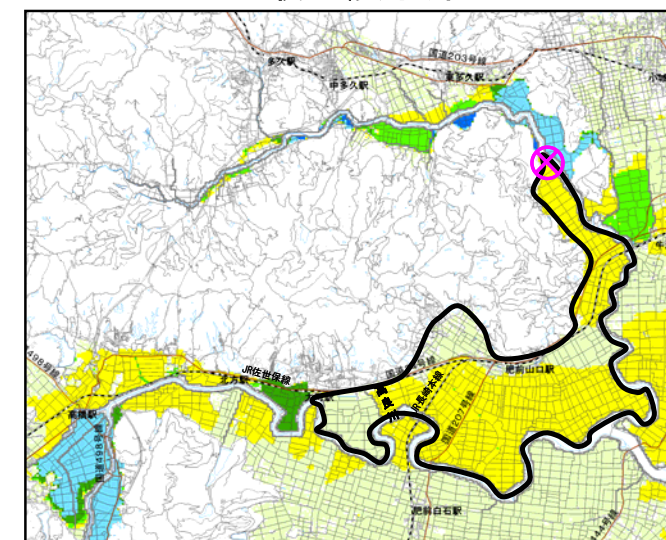
1/100→1割増

1/100→2割増

AとBの最大浸水深の差



AとCの最大浸水深の差

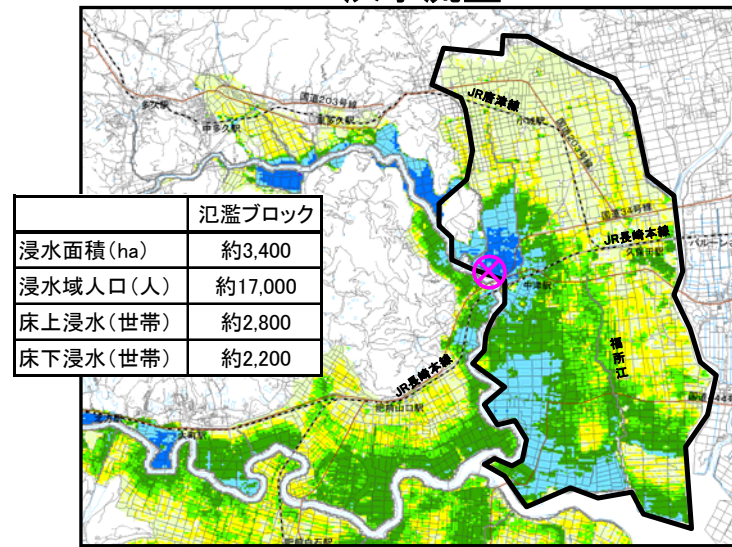


六角川 ⑥牛津川下流左岸はん濫
(堤防決壊地点：牛津川左岸 8.0km)

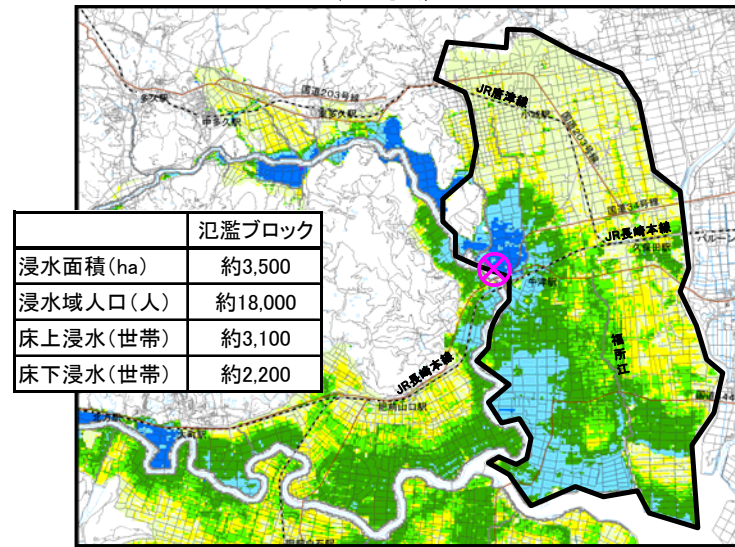
気候変動の影響による最大浸水深の変化 (1.0倍、1.1倍、1.2倍の比較)

- 1.0倍では、牛津駅付近でJR長崎本線を30cm程度越えていたが、気候変動により降雨が増大する場合には35~50cm程度となり被害が拡大する。
- さらに、福所江の堤防もJR長崎本線北側で越えており、1.0倍では5cm程度越えていたが、気候変動により降雨が増大する場合には5~10cm程度となり被害が拡大する。

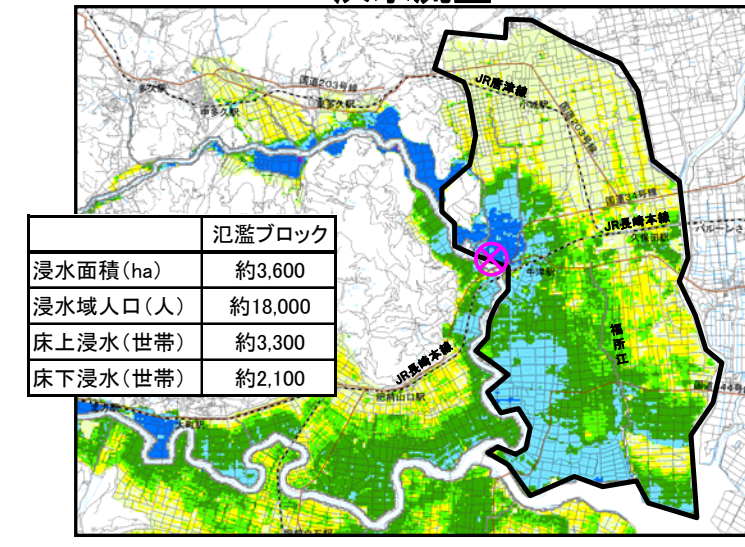
A: 100年に1回の確率で発生する
洪水流量



B: 計画降雨が約1割増になった場合の
洪水流量



C: 計画降雨が約2割増になった場合の
洪水流量

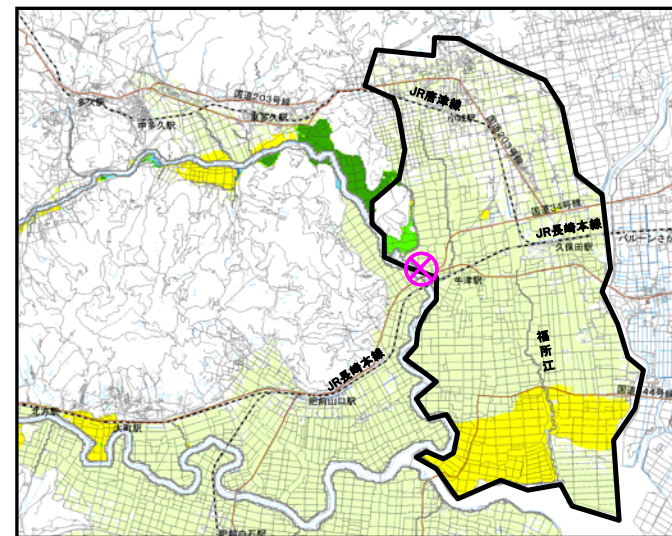


注) 図中の数字は、有効数字2桁により四捨五入した数値となっている。
このため、浸水面積、浸水域人口の増加割合と一致しない場合がある。

1/100→1割増

1/100→2割増

AとBの最大浸水深の差



AとCの最大浸水深の差

